

H I M U K A



設立30周年記念誌

NOV.2012



公益社団法人 宮崎市シルバー人材センター

# 目次

CONTENTS

ごあいさつ	理事長	岩切 千秋	1
祝 辞	宮崎労働局長	小林 泰樹	2
	宮崎市長	戸敷 正	3
	宮崎市議会議長	前田 広之	4
記念行事	式典		5
	式典次第・来賓名簿		6
	受賞者名簿		7
設立30年の歩み			8
シルバー会員に聞く			19
発注者の声			28
職群部会報告			30
地域活動			34
普及啓発活動			38
指定管理事業			39
各支部紹介			40
会員互助会の歩み			44
統計で見る30年の歩み			49
第2次中期計画			51
センターの課題と展望			54
役員、事務局職員、会員互助会役員			55
歴代役員一覧			56
あとがき			57

## 宮崎市シルバー人材センターの歌

井上清春 作詞  
作曲

1 あさひに かがやく えがおのな かーに  
ふゆの あらしを のりこえて  
つかんだ ひとの はながあーる  
いくやまざがが あろうとも  
いちご いちごの せいしんで  
みやざき シルバーを つくりゆく

1  
朝日に輝く 笑顔の中に  
冬の嵐を乗り越えて  
つかんだ男の「華」がある  
幾山坂があろうとも  
一期一会の精神で  
宮崎シルバーを創りゆく

2  
夜空に またたく 星の数より  
多きロマンをたずさえて  
歩いた女の「夢」がある  
幾年月がたとうとも  
天長地久の心意気  
宮崎シルバーを創りゆく

# ごあいさつ

## 理事長 岩切 千秋



去る5月30日にオルブライトホールにおいて、会員330名の出席のもと、公益社団法人宮崎市シルバー人材センターの設立30周年記念式典、講演会、定時総会が挙行されました。式典においては、当シルバー人材センターへの発注団体11社、永年在籍会員20年1名、10年41名、功勞職員2名の表彰が行われ、宮崎労働局長、県知事、宮崎市長、市議会議長その他多くの来賓のみなさまよりお祝いの言葉をいただきました。衷心より厚くお礼を申し上げます。

また、講演会には河野俊嗣宮崎県知事より「宮崎県政を語る」の演題で講演をいただきました。ありがとうございました。

さて、昨今の世界経済情勢においては、ギリシャのユーロ圏離脱問題、スペイン等ヨーロッパにおいて債務危機や金利問題も発生し、全世界にユーロ不安が、また隣国の中国でも経済成長率の鈍化傾向の兆しが見られます。

国内においても、昨年発生した東日本大震災、福島原子力発電所の放射能問題などについて1年数カ月を経た現在も、ガレキ処理問題を含め、復興のスピードが遅れています。

県内では鳥インフルエンザ、口蹄疫、新燃岳降灰などについて県・市町村で対策を講じているものの、観光客の誘致、消費拡大運動の成果は十分とは言えません。

このような情勢の中、宮崎市シルバー人材センターは30周年の節目にあたり、新公益社団法人の移行に併せて第2次中期計画(平成24年～平成28年)を作成し、再スタートを切りました。会員の拡大、会員の高度な技術の習得、真の自主・自立、共働・共助の確立、人材センターの認知度のアップに向けて取り組んでまいります。

会員の皆様のご協力のもと、役員・職員のより一層の連携を図り、事業拡大、コスト削減に向けて頑張っておりますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申しあげ、ご挨拶と致します。

# 祝 辞

## 宮崎労働局長 小林 泰樹



本日ここに、公益社団法人宮崎市シルバー人材センター設立30周年記念式典が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

ご出席の皆様方には、日頃からシルバー人材センター事業の運営・発展に格別のご理解とご尽力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、県内の雇用失業情勢は、新規求人数が中小企業を中心として緩やかながらも改善を続け、産業別にも総じて前年水準を上回って堅調に推移しており、平成20年のリーマン・ショックにより0.38まで落ち込んだ有効求人倍率は対前年同月比で26カ月連続の増加となって、本年4月の有効求人倍率は0.68倍と、リーマン・ショック以前に回復しております。

しかしながら、この夏の電力供給の制約や円高の動きもあり、本県の雇用環境を取り巻く状況は依然厳しい状況にあります。

また、少子高齢化社会の到来と言われて久しいですが、高齢者を取り巻く状況を見ると、我が国における高齢者の就業率は諸外国と比べて高いという特徴があります。これは勤勉な国民性を物語るところであり、また、今後は年金受給年齢の引き上げによる収入の確保という面からも就業率は増加するかと思えます。厚生労働省は継続雇用を希望する者が年金受給年齢まで働くことができるように、改正高齢者等雇用安定法案を本国会に提出しているところです。

宮崎市シルバー人材センターにおかれましては、昭和57年1月に設立され、ここに30周年の節目の年を迎えられました。近年におきましては、近隣4町のセンターとの合併もあり、区域や会員数の増加を背景に事業を大きく発展されておりますことをお喜び申し上げます。

また、この4月から名称が社団法人から公益社団法人へ移行されましたが、これも高齢化社会において、シルバー人材センターが地域における就労の場や社会支援活動の場を提供する拠点として、地域社会に貢献している重要性が大きく評価されたものと考えております。

労働局といたしましても、今後とも宮崎市シルバー人材センターをはじめ、シルバー人材センター連合会、各拠点センター並びに県・市町村の皆様との連携を一層密にしながら、高齢者雇用対策の重要な柱であるシルバー人材センター事業の更なる発展・拡充のために、協力・支援に努めていきたいと考えております。

最後になりますが、宮崎市シルバー人材センターが、本日を契機に自主・自立、共働・共助の基本理念のもと、さらにご発展されますよう、また、ご列席の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

# 祝 辞

## 宮崎市長 戸敷 正



本日、公益社団法人宮崎市シルバー人材センターがめでたく設立30周年を迎えられ、ここに盛大に記念式典を開催されますことを心からお祝い申し上げます。

宮崎市シルバー人材センターは、昭和57年1月に宮崎県で最初のシルバー人材センターとして設置されて以来、経済情勢が変動する中にありながらも、高齢者の生きがいの充実と社会参加の推進にご尽力いただき、着実に事業実績を築き上げてこられました。

これもひとえに歴代の理事長はじめ、役員、職員の方々、そして、会員の皆様のたゆまぬ研鑽とご努力の賜と深く敬意を表する次第でございます。

さて、現在の我が国の高齢社会におきまして、活力ある経済社会を維持していくためには、高齢者の皆様が健康で生きがいを感じながら生活されますとともに、長年培われました豊かな経験や知識、能力が発揮できるような社会が必要とされております。

このような中、シルバー人材センターが果たされる役割は重要であり、就業を通じて、高齢者の生きがいづくりや社会参加が促進されることにより、地域が活性化していくものと期待しております。

本市におきましても、市民や地域の活力を生かしながら、本市の特性や可能性を引き出すことで、より一層個性的で魅力ある都市へ飛躍するために、今年度から「市民が主役の市民のためのまちづくり戦略」を効果的に推進するための重点戦略であります「40万人スクラムプロジェクト」を本格始動しているところでございます。

このプロジェクトにおきましては、地域力の向上、滞在型観光の推進、6次産業化の充実強化について、優先的に取り組んでまいりますので、今後とも皆様方の変わらぬご理解とご協力をいただきますようお願い致します。

終わりに、公益社団法人宮崎市シルバー人材センターがますますご発展されますことを心より祈念申し上げますとともに、本日栄ある表彰をお受けになられます方々をはじめ会員皆様方のご多幸をお祈り致しまして、お祝いの言葉と致します。

# 祝 辞

## 宮崎市議会議長 前田 広之



本日、ここに「宮崎市シルバー人材センター設立30周年記念式典」が盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

まず、この度多年にわたるご功績により表彰を受けられます皆様、まことにおめでとうござい  
ます。更なるご活躍をご期待申し上げます。

会員の皆様におかれましては、多岐にわたる分野での就業を通して、地域社会に貢献しておら  
れますことは、大変心強い限りでございます。ひとえに、会員の皆様をはじめ、役員、職員の皆様  
のご努力の賜と深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、ご案内のとおり、少子高齢化が急速に進み、年金、医療、介護制度など、社会保障制度の充実  
が大きな社会問題となっているほか、高齢者の雇用の確保も大変重要な課題となっております。

活力ある経済社会を維持するためには、高齢者の豊かな経験や知識、能力を発揮できるまちづ  
くりが求められているところであります。

このような中、センター運営は、長引く景気低迷等により就業機会が低下し、未だに厳しい状況  
にあると認識をいたしております。

これからは官民一体となって、時代のニーズに応じた就業機会の創出と雇用の安定に積極的に  
取り組まなければならないと考えております。

市議会といたしましても、皆様方が生きがいを持ち、幸せと豊かさを実感できる社会の実現に、  
不断の努力を傾注してまいり所存であります。今後とも、皆様のお力添えを賜りますよう、お願い  
申し上げます。

終わりに、宮崎市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝、  
ご多幸をご祈念申し上げまして、お祝いのご挨拶と致します。

## 公益社団法人への移行で市民目線を目指すシルバーに 設立30周年の記念式典開催

宮崎市シルバー人材センターは、平成24年4月1日付で、これまでの「社団法人」から「公益社団法人」に移行しました。これによって公益性の高いシルバーへの発展を目指すことになりました。

節目の今年、設立30周年・同互助会設立20年を祝う記念式典が、5月30日宮崎市民プラザ・オルブライトホールにおいて、会員・招待者など約330人が参加して開催されました。司会は職員の吉田利恵さんが務めました。

### 第一部

式典は柏田國雄副理事長の開会宣言に続き、宮崎市シルバー人材センターの歌の斉唱で開幕しました。会員物故者に黙祷を捧げたのち、井上徹也理事長の「公益社団法人への移行」に触れる式辞に続いて、小林泰樹宮崎労働局長はじめ代表3名の方から「厳しい環境を乗り越えた市民目線でのサービスを目指すシルバーへ」との来賓祝辞をいただいた後、祝電が披露されました。

これに続いて、これまで功績のあった方々へ感謝状・表彰状が贈呈されました。先ず、井上徹也理事長から、宮崎市フェニックス自然動物園管理株式会社を初めとする11名の発注者へ感謝状が贈呈されました。続いて表彰状贈呈に移り、1名のセンター役員、2名の功労職員、20年間在籍会員1名、10年間在籍会員41名に理事長から表彰状が贈られました。さらに、80歳の青春式を迎えた20名の互助会会員に、田中正平会長から表彰状が贈られました。(感謝状・表彰状受賞者は別記P.7のとおりです)

記念式典は、このあと万歳三唱で30周年を祝い、閉会の言葉で式典の第一部を終了しました。

式典後、本年度定時総会があり、昨年度の事業実績などの報告がありました。



井上徹也理事長の式辞

### 第二部 講演会「宮崎県政を語る」 宮崎県知事 河野俊嗣

第二部は、河野俊嗣宮崎県知事が「宮崎県政を語る」と題して記念講演をされました。知事は、東国原英夫知事の後任として就任し、精力的に県政に取り組み、その誠実で地道に取り組む姿勢が評価されています。座右の銘は「一期一会」で、趣味は「トライアスロンやオペラ鑑賞・家庭菜園」という知事の、熱気あふれる話しぶりが会員の感動を呼んでいました。

知事の話の要旨は、「宮崎の良さを再発見し、伸び代を生かす」ことで宮崎を発展させたい点にありました。具体的には、宮崎に大きくかかわる「古事記編纂1,300年で祖先の知恵や経験を生かす」ことから、「地産地消による経済の元気づけ、100万泊県民運動、高速道路活用、農業生産物の付加価値化、アジアとの関係強化、高齢者や女性の活躍の場や、シルバーの仕組みづくり」など、示唆に富んだ講演で県政の指針を示していただきました。



河野俊嗣県知事の講演

宮崎市シルバー人材センター  
設立30周年・互助会20年記念式典次第



第一部

- 1 オープニング
- 2 開式のことば
- 3 会員物故者に対し黙祷
- 4 式辞
- 5 来賓祝辞  
宮崎労働局長  
宮崎市市長  
宮崎市議会議長
- 6 来賓紹介
- 7 祝電披露
- 8 感謝状贈呈  
団体、企業関係
- 9 表彰状贈呈  
役員 (5年以上)  
長期会員 (20年間在籍)  
長期会員 (10年間在籍)  
職員 (10年間在職・特別功労)  
青春式 (互助会)
- 10 万歳三唱
- 11 閉式のことば

第二部

- 講演会  
演題 「宮崎県政を語る」  
講師 宮崎県知事 河野 俊嗣

来賓名簿

宮崎労働局長	小林 泰樹
宮崎市市長 代理 副市長	笠 和俊
宮崎市議会議長 代理 副議長	中川 義行
(公社)宮崎県シルバー人材センター連合会 会長	高橋彰一郎
(公社)宮崎県シルバー人材センター連合会 常務理事兼事務局長	平島 忠信
(社福)宮崎市社会福祉事業団 常務理事	長田 鉄夫
(公社)宮崎市シルバー人材センター 第5代理事長(平成12年~16年)	長田 仙一



津倉幸子会員による生花

宮崎日日新聞掲載



全員で宮崎市シルバー人材センターの歌斉唱



10年在籍会員表彰式

# 感謝状・表彰状受賞者名簿

(敬称略・順不同)

## 感謝状受賞者

### ○5年間継続発注者 11社

- 宮崎市フェニックス自然動物園管理株式会社
- 財団法人 宮崎市花のまちづくり公社
- 一般社団法人 みやざき公園協会
- 有限会社 ジェイエイファームみやざき中央
- 株式会社 湖月大淀店
- 一般財団法人弘潤会 介護老人保健施設『シルバーケア野崎』
- 株式会社 宮崎山形屋
- 有限会社 アカネ緑産
- 有限会社 高岡ゴルフセンター
- 株式会社 森鷲卵場南九州支店
- 宮崎江南介護老人保健施設『サンビュー宮崎』



感謝状贈呈

## 表彰状受賞者

○役員 1名 原元 定人

○20年間在籍会員 1名 又木 富貴子

○10年間在籍会員 41名

田口 藤盛	星加 タミ子	小田 アイ子	深野木 香
田村 斗三子	小島 昌治	松浦 勝良	小松 秋子
長友 愛太郎	鎌田 義親	杉尾 久吉	星平 英雄
河野 美利	谷崎 竹之	八朝 キクエ	徳留 敏昭
青野 義実	橋口 吉男	恵良 武年	井戸川 ヤス子
逆瀬川 一彦	立山 ツギエ	根井 ミチ子	境田 ミツヲ
落合 孝啓	諸橋 弘	吉元 薫	井上 佐利
入江 康夫	中野 ツミ子	三谷 俊夫	矢野 セツ子
矢野 辰子	米田 裕	黒木 正俊	平松 保輔
野崎 勝	飯尾 維新	阿萬 清吉	小牟田 三郎
岩切 忠			



20年在籍会員又木さんの表彰式

○功労職員 2名 重永 博紀 山元 正司

○青春式(互助会) 20名

又木 富貴子	小園 清次	平田 申之祐	矢野 實
小城 雄幸	甲斐 サエ子	矢野 辰子	凶師 春己
小野 キク子	緒方 ユリ	山下 好子	緒方 義宣
西口 幸重	宮野原 泰男	石川 千津子	中武 隆子
北村 美智子	矢野 清子	小玉 淑子	田村 正二

※青春式は5年以上会員で満80歳を迎えた人

# 設立30年の歩み

年月	センターの歩み	社会の歩み
昭和57	<p>1月 「社団法人宮崎市シルバー人材センター」 設立総会</p> <p>5月 第1回通常総会</p> <p>初代理事長 長友 平 初代事務局長 宮田光雄 2代理事長 厚地 安 3代理事長 清山義美</p>  <p>第1回通常総会</p>	<p>4月 宮崎・鹿児島高速道開通</p> <p>5月 皇太子ご夫妻県内御視察</p>
昭和58	<p>5月 「シルバー宮崎」(ひむかの前身)発刊</p> <p>6月 草刈機取扱講習会 庭木スクール講習会</p> <p>7月 塗装スクール開講 大工スクール開講 健康管理講習会開講</p>  <p>「シルバー宮崎」発行</p>  <p>植木スクール</p>	<p>5月 宮崎県置県百年記念式</p>
昭和59	<p>5月 通常総会で会員意見発表会</p> <p>6月 庭木スクール開講(以降例年実施)、塗装ス クール開講</p> <p>9月 剪定講習会開講</p> <p>10月 第1回研修旅行「林田温泉」</p>	<p>3月 綾大吊り橋完成</p> <p>4月 第1回宮崎ふるさとまつり</p> <p>7月 ロサンゼルスオリンピック</p>
昭和60	<p>1月 健康管理講習会</p> <p>6月 障子・襖張替スクール開講</p> <p>10月 中央公園奉仕作業(以降例年実施) 研修旅行「霧島温泉」</p>  <p>研修旅行「霧島温泉」</p>	<p>3月 つくば万博</p> <p>8月 日航機墜落事故(御巣鷹山)</p> <p>11月 第1回楠並木コリドール開催</p>
昭和61	<p>5月 植木剪定講習会(以降例年実施) 研修旅行「えびの高原」</p> <p>10月 シルバー新規事業先進センター視察(尾道 市・吹田市・長崎市・福岡市)</p> <p>2代事務局長 永富宏一</p>	<p>11月 全国植樹祭(皇太子ご夫妻御来県)</p>

年月	センターの歩み	社会の歩み
昭和62	3月 草刈機操作講習会開講 5月 通常総会で体験発表会 6月 塗装スクール 障子・襖張替スクール開講体験発表会 10月 研修旅行「北郷温泉」	4月 国鉄民営化、JR発足  草刈機操作講習会
昭和63	1月 鶴島～平和台歩こう会 5月 通常総会で「(社)宮崎市シルバー人材センターの歌」発表 6月 障子・襖張替スクール開講 7月 筆耕講習会(以降例年実施)  3代事務局長 魚本定良	3月 青函トンネル開通 4月 瀬戸大橋開通 新県立図書館開館 9月 宮崎大学が学園都市に移転 ソウルオリンピック     鶴島～平和台歩こう会      宮崎市シルバー人材センターの歌発表      筆耕講習会
平成元	1月 襖張替講習会 2月 清掃講習会、草刈機取扱講習会 3月 料理講習会 8月 ワープロ講習会開講 10月 研修旅行「霧島温泉」	1月 昭和天皇崩御・平成改元 4月 高千穂鉄道開通 5月 消費税導入 6月 中国天安門事件
平成2	3月 料理教室、障子・襖張替講習会、清掃講習会、ワープロ教室 5月 設立10周年記念事業検討委員会設置 6月 筆耕講習会、新入会員研修会実施 9月 第1回レクリエーション大会開催 10月 女性会員合同研修会・研修旅行「霧島温泉」  4代事務局長 崎村富男	4月 宮崎新港開港・大阪花の万博 8月 食と緑の博覧会 10月 東西ドイツ統一   第1回レクリエーション大会

年月	センターの歩み	社会の歩み
平成3	1月 家事援助・介護サービス講習会 2月 刃物研ぎ講習会 3月 障子・襖張替講習会、清掃講習会、料理教室 4月 コーディネーター研修(広島市SC) 9月 レクリエーション大会開催 10月 研修旅行「京町温泉」  5代事務局長 木下 忠	1月 湾岸戦争始まる 4月 自転車放置防止条例施行 宮崎市の花木に椿を指定 6月 雲仙・普賢岳噴火 11月 全日本マスターズ宮崎大会 12月 ソビエト連邦解体
平成4	1月 健康教室 2月 研修旅行「天草温泉」 4月 地域班組織を設置、駐輪監視管理業務を開始 5月 設立10周年記念式典 記念誌「たまゆら」発行 包装講習会 10月 研修旅行「石崎浜荘」 11月 事業所宛リーフレット発送	7月 スペインのバルセロナオリンピック 8月 全国高校総体宮崎大会
	 <p>地域班編成</p>	 <p>駐輪の監視管理業務</p>
平成5	5月 健康講座 2月・8月 草刈機取扱講習会 3月 歩こう会 4月 市民“総踊り”初参加 5月 会員互助会設立総会 8月 草刈機取扱講習会 6月 植木スクール開講、障子・襖張替講習会、 筆耕講習会、包装講習会 10月 研修旅行「霧島温泉」 12月 地区懇談会(以降毎年開催となる)  初代互助会長 清山義美	4月 宮崎公立大学開学 皇太子ご成婚 7月 世界ベテランズ陸上大会宮崎大会 新JR宮崎駅オープン 11月 県立芸術劇場オープン
		 <p>市民総踊り参加</p>
平成6	1月 健康講座 3月 歩こう会 契約金額2億円突破 5月 総会で中長期計画策定についての提案承認 会員互助会第1回総会 6月 会員作品展示会(NHKにて)、植木スクー ル、植木講習会、筆耕講習会、包装講習会  4代理事長 外山義明	4月 五ヶ瀬中高校開校 市立図書館開館 10月 シーガイア グランドオープン
		 <p>会員作品展示会</p>

年月	センターの歩み	社会の歩み
平成6	7月 除草講習会 中長期計画策定委員会設置 8月 草刈機取扱講習会 9月 安全就業講習会 10月 研修旅行「日南」 福祉・家事援助サービス講習会、障子・襖張替講習会	 <p>福祉・家事援助サービス講習会</p>
平成7	1月 健康講座 3月 歩こう会 理事会専門委員会設置要綱改正 6月 植木スクール開講、植木講習会、筆耕講習会 事業拡大推進班新設 7月 除草講習会 8月 福祉・家事援助サービス講習会 9月 草刈・除草講習会 10月 会員作品展示会(宮交シティ) 研修旅行「皇子原公園」	1月 阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件 7月 九州自動車道全線開通 10月 県総合文化公園・県立美術館開館 J R 宮崎駅西口広場完成 全国豊かな海づくり宮崎大会  <p>植木講習会</p>
平成8	2月 襖張替講習会 3月 会員対外経験交流研修(延岡市SC) 5月 健康講座 6月 植木スクール開講、植木講習会、筆耕講習会 設立15周年記念行事検討委員会 7月 草刈・除草講習会 10月 研修旅行「酒泉の杜」、事務系職種事業開拓 について各界代表と懇話会実施 12月 包装講習会・接遇講習会	3月 第1回宮崎国際室内音楽祭 7月 宮崎空港連絡鉄道開通 アトランタオリンピック 9月 宮崎ケーブルテレビ開局 10月 宮崎市民ホールオープン 11月 「ねりんピック96宮崎」開幕
平成9	2月 会員対外経験交流会(日南市SC) 4月 草刈・除草講習会 5月 設立15周年記念大会 6月 植木スクール開講 植木講習会、筆耕講習会 7月 包装講習会 9月 記念誌「15年のあゆみ」発行 10月 会員作品展示会(J R 宮崎駅)・研修旅行「青島」 6代事務局長 外山正邦	4月 県立看護大学開学 8月 英ダイアナ元皇太子妃事故死 マザーテレサ死去 11月 全日本ベテランズゴルフフェスティバル 宮崎大会
平成10	1月 福祉・家事援助サービス講習会 3月 健康講座 7代事務局長 永野賢一	7月 大淀河畔に温泉湧出

年月	センターの歩み	社会の歩み・安全標語・ポスター入選作品
平成10	5月 植木スクール開講 植木講習会、筆耕講習会、包装講習会、 草刈・除草講習会 9月 シニアワークプログラム事業（SP事業） 始まる 10月 研修旅行「シーガイア」	 <p>包装講習会</p>
平成11	1月 安全就業講習会 2月 福祉・家事援助サービス講習会（7月も） 会員対外経験交流研修（日向市・延岡市SC） 3月 障子・襖張替講習会 6月 植木スクール開講 10月 研修旅行「ホテルプラザ」 11月 福祉家事援助事業視察（鹿児島市SC）	3月 「グリーン博みやざき99」開催 10月 「第8回全国ボランティアフェスティバル みやざき」開催  <p>安全講習会</p>
平成12	1月 安全就業講習会 2月 会員役職員講習会 3月 福祉・家事援助会員対外交流会（綾町SC） 6月 契約金額3億円突破 8月 植木スクール開講 福祉・家事援助サービス講習会 9月 研修旅行「北郷温泉」 10月 研修旅行「霧島温泉」 みやざき健康ふくしまつりに参加 11月 福祉・家事援助事業視察（大分市SC） 5代理事長 長田仙一	3月 東九州自動車道清武～宮崎西開通 4月 フローランテ宮崎オープン 7月 九州沖縄サミット宮崎外相会議 10月 宮崎市民プラザ開館（オルブライトホール）  <p>健康ふくしまつりに参加</p>
平成13	1月 会報「シルバー宮崎」が「ひむか」に改称、表紙デザインも一新 5月 設立20周年記念事業実行委員会設置 10月 みやざき福祉まつり2001に参加（宮崎市総合福祉保健センター） 2代互助会長 吉留善郎  <p>研修旅行「細の里」</p>  <p>新しい「ひむか」の表紙</p>	★「無理するな若さ自慢はケガの元」 藤本英夫（軽作業部会） 2月 サンマリンスタジアムオープン 3月 東九州自動車道宮崎西～西都開通 9月 アメリカ同時多発テロ 「ひむか」市文化財めぐり、「御親閲記念碑」。

※平成14年より年度表示とする

年度	センターの歩み	社会の歩み・安全標語・ポスター入選作品
平成14	<p>5月 センター設立20周年・互助会10周年記念式典を開催 (県立芸術劇場演劇ホール)</p> <p>6月 筆耕講習会・植木スクール開講、包装講習会(2回)、植木部会員講習会(5回)、福祉・家事援助サービス講習会(7回)</p> <p>7月 防府市SC・岡山市SC来訪 防府市シルバー人材センター(10人)と合同で市内村角の「シルバーケア野崎」(野崎病院経営)訪問 宮崎県安全就業推進大会に参加、県下27センターとともに600人集まる 新入会員研修会</p> <p>8月 大崎町SC・三股町SC来訪</p> <p>9月 専門委員会視察研修(一宮市SC) センター設立20周年記念誌「ひむか」発行 みやざき健康ふくしまつりに参加</p> <p>10月 専門委員会視察研修(犬山市SC)</p> <p>11月 熊本市、都城市、更埴地域SC来訪 福祉家事援助事業視察(山鹿市SC)、役職員視察研修(佐世保市SC)</p> <p>12月 新入会員研修会</p> <p>1月 佐世保市SC・都城市SC来訪</p> <p>2月 甘木市SC・浦添市SC・鹿児島市SC来訪 福祉家事援助事業交流研修(小林市SC)</p> <p>3月 草刈・除草講習会</p> <div data-bbox="408 1153 831 1377" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="518 1379 724 1406">設立20周年記念式典</p>	<p>★「安全で今日も笑顔で待つ家族」 岡元輝行(管理部会)</p> <p>5月 サッカーワールドカップ</p> <p>7月 皇太子ご夫妻御来県 (献血運動全国大会)</p> <p>10月 北朝鮮拉致被害者5名帰国</p> <p>3月 イラク戦争勃発</p> <div data-bbox="1018 636 1414 860" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1018 862 1414 889">シルバーコーラスがシルバーケアを慰労</p> <div data-bbox="1018 913 1414 1144" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1018 1155 1414 1182">曾小川さんの作った豆人形を皆さんに贈呈</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、大塚町長久寺所蔵の市指定「木造六観音像」。</p>
平成15	<p>5月 宛名書き講習会開講、新入会員研修会</p> <p>6月 賞状書き講習会・植木スクール開講、包装講習会(2回)、植木部会員講習会(4回)、福祉・家事援助サービス講習会(7回)、屋内清掃講習会(3回)</p> <p>7月 宮之城町SC来訪</p> <p>10月 福祉家事援助事業視察(大牟田市SC)</p> <p>11月 みやざき健康ふくしまつりに参加 山口県SC連合来訪 地区責任者視察研修(長崎市SC)</p> <p>8代事務局長 瀬戸口 遵</p>	<p>● 県シ連主催のシルバーの日制定に際し、募集したポスター原画に河東進・田中正平両会員の作品が入賞</p> <div data-bbox="997 1603 1198 1888" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1038 1890 1161 1917">河東 進作品</p> <div data-bbox="1217 1603 1422 1888" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1249 1890 1372 1917">田中 正平作品</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、市新指定文化財を紹介。「下北方地下式横穴出土品」、「下郷遺跡出土絵画土器」。</p>

年度	センターの歩み	社会の歩み・安全標語・ポスター入選作品
平成15	役職員視察研修(久留米市SC) 新入会員研修会 12月 自転車整理指導員講習会 岩手県SC連合来訪 専門委員会視察研修(豊田市SC) 2月 福祉家事援助事業交流研修(都城市SC) 統合先進地視察研修(川之江市SC) 3月 草刈・除草講習会 統合先進地視察研修(さいたま市SC・山形市SC)	★「安全は工夫と知恵で築くもの」 重永喜代隆(事務部会) 4月 郵政事業庁が日本郵政公社に 「ひむか」市文化財めぐりに、短歌歌碑。長塚節・伊東義祐・若山牧水(2)。木下利玄・昭和天皇御製。
平成16	5月 宛名書き講習会開講 6月 センター事務所を高洲町に移転 賞状書き講習会・植木スクール開講、植木部会員講習会(4回)、包装講習会(2回) 7月 シルバーセンターコーラスがウクライナから来宮した青少年にコーラスと手作りノート・人形をプレゼント 福祉・家事援助サービス講習会(9回)、屋内清掃講習会(2回) 新入会員研修会 9月 自転車整理指導員講習会 地区責任者・職群部会三役視察研修(鹿児島市SC) 11月 大野城市SC来訪 役職員視察研修(大分市SC)、新入会員研修会 12月 都城市SC互助会来訪 統合先進地視察研修(周南市SC) 2月 鹿児島市SC来訪 福祉家事援助事業交流研修(三股町SC) 統合先進地視察研修(八日市市SC・箕面市SC) 3月 草刈・除草講習会 高松市SC来訪 6代理事長 小松敬尚	★無理しない安全第一正確に (管理部会・牧之瀬秀次)  田中 正平作品 ●県シ連主催安全ポスターに田中正平氏が最優秀賞 8月 アテネオリンピック開催 10月 中越地震発生 11月 新紙幣発行 3月 愛知万博開催  新センター事務所 「ひむか」市文化財めぐりに、市文化財新指定の生目神社蔵「木造神面2面」。 「ひむか」市文化財めぐりに、定型俳句5基。芭蕉・西本不及・高堂素棲・竹内一笑・田崎賜恵。

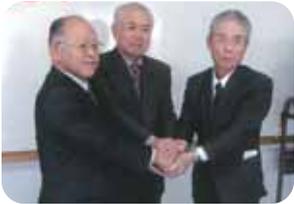
見事なコーラスを披露するウクライナの子供たち



プレゼントするコーラス部員

年度	センターの歩み	社会の歩み・安全標語・ポスター入選作品
平成17	<p>4月 賞状書き講習会開講</p> <p>6月 植木スクール開講、福祉家事援助サービス講習会(9回) 新入会員研修会</p> <p>7月 大口径刈広域SC来訪</p> <p>8月 統合先進地視察研修(久留米市SC)</p> <p>10月 植木部会員講習会(4回)</p> <p>11月 草刈・除草講習会 都城市SC来訪 役職員視察研修(別府市SC)、統合先進地視察研修(西東京市SC)</p> <p>12月 佐伯市SC来訪 専門委員会視察研修(京都市SC)</p> <p>1月 初の新年宴会(日帰り研修旅行を中止)を青島観光ホテルで実施 長崎県SC連合来訪</p> <p>2月 福祉家事援助事業交流研修(日南市SC) 新入会員研修会</p> <p>3月 国分市SC来訪</p> <p>9代事務局長 吉野武樹</p>	<p>4月 JR西日本福知山線の脱線事故(死者107・負傷者460)</p> <p>9月 郵政民営化法成立</p> <p>11月 天皇家長女紀宮さまご結婚</p> <p>1月 宮崎市と3町合併</p> <p>2月 冬季トリノオリンピック開催</p> <p>3月 第1回WBCで日本優勝</p> <div data-bbox="1013 622 1406 869" data-label="Image"> </div> <p>「えれこっちゃみやざき」に参加</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、総合文化公園の銅像群。川越進・若山牧水・高木兼寛・安井息軒・石井十次。</p>
平成18	<p>4月 宮崎市・佐土原町・田野町・高岡町各シルバー人材センターが統合合併 新(社)宮崎市シルバー人材センター</p> <p>6代理事長 小松敬尚(留)</p> <p>9代事務局長 吉野武樹(留)</p> <p>2代互助会会長 吉留善郎(留)</p> <p>6月 植木スクール開講、福祉・家事援助サービス講習会(9回)</p> <p>9月 役職員視察研修(山鹿市SC、八代市SC)</p> <p>10月 最後の「会員だより」を発行、以後は「ひむか」と合流</p> <p>11月 専門委員会視察研修(高槻市SC・西宮市SC)、新入会員研修会</p> <p>12月 シルバーコーラスがウクライナ青少年一行を青島自然の家で歓迎演奏</p> <p>1月 大崎町SC・福岡市SC・霧島市SC来訪</p> <p>2月 福祉家事援助事業交流研修(国富町SC) シルバーコーラス慰問(特養長生園)</p> <div data-bbox="432 1731 778 1977" data-label="Image"> </div> <p>シルバーセンター コーラス長生園を慰問</p>	<div data-bbox="1018 1126 1406 1373" data-label="Image"> </div> <p>新年会「シルバー人材センターコーラスのフラダンス」と「御馳走を楽しむ」</p> <div data-bbox="1026 1473 1401 1731" data-label="Image"> </div> <p>1市3町センターの統合調印式</p> <p>9月 秋篠宮悠仁さま誕生 安倍内閣発足</p> <p>1月 東国原知事就任</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、佐土原大光寺と巨田神社。</p>

年度	センターの歩み	社会の歩み・安全標語・ポスター入選作品
平成19	<p>4月 賞状書き講習会・宛名書き講習会開講</p> <p>5月 植木部会員講習会(4回)</p> <p>日舞同好会がデイサービスセンター「よしみ園」を慰問</p> <p>6月 福祉・家事援助サービス講習会(8回)</p> <p>11月 役職員視察研修(佐賀市SC・柳川市SC)</p> <p>新入会員研修会</p> <p>1月 鹿児島市SC来訪</p> <p>2月 彦根市SC・福島市SC・佐世保市SC来訪</p> <p>福祉家事援助事業交流研修(小林市SC)</p> <p>3月 人吉市SC来訪</p> <p>当シルバーのホームページ開設</p> <p>10代事務局長 永野利信</p> <p>3代互助会会長 田中正平</p> <p>●小松理事長が県シ連副会長に選任</p>  <p>センターのホームページ開設</p>  <p>鹿屋バラ園</p>	<p>★「チョットまで就業前にまず確認」 毛利立男(植木部会)</p> <p>4月 年金記録漏れ判明</p> <p>7月 新潟県中越沖地震、柏崎原発火災</p> <p>9月 福田内閣発足</p>  <p>東国原知事を囲んで県シ連役員</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、高岡の月知梅・去川のイチョウ・高木兼寛生誕地・天ヶ城。</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、田野町の本野原遺跡・梅谷太鼓橋・仏堂園群像仏・鷺瀬の城攻め踊り。</p>
平成20	<p>4月 賞状書き講習会・宛名書き講習会開講</p> <p>6月 植木スクール開講、植木部会員講習会(3回)</p> <p>7月 福祉・家事援助サービス講習会(7回)</p> <p>9月 三股町SC来訪</p> <p>11月 専門委員会視察研修(豊橋市SC・岡崎市SC、姫路市SC・倉敷市SC・鳥取市SC)</p> <p>12月 専門委員会視察研修(金沢市SC・福井市SC・彦根市SC)、新入会員研修会</p> <p>2月 久留米市SC来訪、福祉家事援助事業交流研修(人吉市SC)</p> <p>3月 草刈・除草講習会</p> <p>熊本市SC来訪</p> <p>7代理事長 井上徹也</p>  <p>見送るうたせ舟の漁師たち</p>	<p>★「自分を守り隣に助言、安全笑顔で一日就業」長田良郎(植木部会)</p>  <p>新年会</p> <p>4月 後期高齢者医療制度スタート</p> <p>8月 北京オリンピック</p> <p>9月 麻生内閣発足</p> <p>リーマンショック</p> <p>10月 ノーベル物理学賞(南部、小林、益川氏) 化学賞(下村氏)受賞</p> <p>1月 オバマ米大統領就任</p> <p>3月 高速道上限1千円がスタート</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、景清廟・皇宮屋。</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、県文書センター・商家「旧坂本家」。</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、直純寺・王楽寺。</p>

年度	センターの歩み	社会の歩み・安全標語・ポスター入選作品
平成21	<p>4月 パッカー車をリース契約 賞状書き講習会・宛名書き講習会開講</p> <p>5月 植木部会員講習会(3回)</p> <p>6月 植木スクール開講</p> <p>7月 福祉・家事援助サービス講習会(5回)</p> <p>10月 家事・福祉センターを神宮1丁目に開設、同所に ショップ「楽らく」オープン、互助会事務所も移転</p> <p>11月 初心者け草刈講習会、地区責任者調査研修(大牟田市SC)</p> <p>12月 新入会員研修会、「楽らく」餅つき</p> <p>1月 臨時総会で清武町SCとの合併承認 人吉市SC来訪</p> <p>2月 福祉家事援助事業交流研修(鹿児島市SC) 小林市SC来訪</p> <p>3月 シルバー人材センターコーラス結成20周年記念演奏会 会員作品展を「楽らく」で開催</p>  <p>平戸城</p>  <p>シルバーショップ「楽らく」オープン</p>  <p>会員作品展展示会「理事長も熱心に鑑賞」</p>	<p>★「シルバーの誇りは無事故と出来の良さ」 宮野原泰男(事務部会) この年から標語公募は2年に1回となる</p> <p>5月 裁判員制度スタート</p> <p>8月 衆院選で民主党圧勝、鳩山内閣発足</p> <p>3月 宮崎市と清武町合併</p>  <p>パッカー車</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、<small>ちよかんきり</small>丁勘切句碑・中村地平文学碑。 「ひむか」市文化財めぐりに、田野城址・元野太鼓橋。</p>  <p>平和公園</p>
平成22	<p>4月 清武町シルバー人材センターを吸収合併 賞状書き講習会・宛名書き講習会開講</p> <p>6月 植木スクール開講、植木部会員講習会(2回)</p> <p>7月 民謡同好会が特養ホーム皇寿園を慰問 福祉・家事援助サービス講習会(5回)</p> <p>11月 県シ連主催の生き生きシルバー物産展に他の県内 11センターと共に参加 草刈・除草講習会 世田谷市SC来訪</p> <p>12月 新入会員研修会</p> <p>1月 新入会員研修会</p> <p>11代事務局長 谷口康吉</p>  <p>清武町SCとの合併調印</p>  <p>生き生きシルバー物産展</p>	<p>4月 口蹄疫発生</p> <p>7月 東九州自動車道「高鍋～西都間」開通</p> <p>9月 管内閣発足</p> <p>10月 ノーベル化学賞(根岸、鈴木氏)</p> <p>1月 新燃岳噴火 河野県知事就任 鳥インフルエンザ発生</p> <p>3月 東日本大震災 福島原発事故</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、安井息軒旧宅・黒北発電所・清武の大クス。 「ひむか」市文化財めぐりに、いとし子の供養碑・宮崎学校招魂碑。</p>

年度	センターの歩み	社会の歩み・安全標語・ポスター入選作品
平成23	<p>5月 市の委託により高年齢者就業相談室を家事福祉センター内に置く</p> <p>7月 広報誌「ひむか」の編集方針を、一般市民をも視野に入れた広報づくりに大幅改革</p> <p>10月 宮崎市青少年プラザ・北部老人福祉センターの複合施設、愛称「げんきプラザ」がオープン、「青少年プラザ」の指定管理者に指定される</p>  <p>新たな方針で編集する「ひむか」</p>  <p>げんきプラザ</p>	<p>7月 なでしこジャパンサッカーW杯で優勝 テレビ放送が地デジに移行</p> <p>9月 野田内閣発足</p> <p>★「シルバーの誇りは無事故と出来の良さ」 宮野原泰男(事務部会)</p>  <p>文化財「いとし子の供養碑」</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、四国道後温泉・石手寺。 「ひむか」市文化財めぐりに、佐土原野田泉光院と安姫遺蹟・佐土原城跡。</p>
平成24	<p>4月 公益社団法人への移行 第2次中期計画策定(24年度から28年度)</p> <p>5月 センター設立30周年・互助会20年記念式典</p> <p>6月 本部事務所を祇園へ移転</p> <p>11月 30周年記念誌「ひむか」発行</p> <p>8代理事長 岩切千秋 4代互助会会長 柳田恒一</p>  <p>功労職員表彰式</p>  <p>本部新事務所</p>	 <p>会員作品展</p> <p>★「馴れた作業に危険が潜むいつも 初心で安全就業」中武征志(植木部会)</p> <p>5月 東京スカイツリー開業 7月 ロンドンオリンピック開幕</p> <p>「ひむか」市文化財めぐりに、江田神社・みそぎ池・小戸神社。</p>

# シルバー会員に聞く

## 経験豊かで貴重な人材

高岡支部 草刈・除草部会 のむら 野村 まさあき 昌明さん(76歳)



高岡支部の前には、明治の医学者として高名な「高木兼寛」の雅号から取られたという保健福祉センター「ほくえんかん 穆園館」が建っている。近くには、あちこちに武家屋敷も残る城下町の風情が漂う。

そこでお会いした野村さんは、平成10年からの会員で、最近まで地区委員を務め上げた貴重な人材。年齢よりはずっと若く見える。町はずれの農家の12人兄弟の長男として農業を継いだ。隠居した父は92歳でまだ健在。子供さんは娘と息子2人。孫は中学生の女子が2人。娘さんは市内の白浜に住んでいる。10アールの田で米を作っているが、殆ど自家用である。

話の途中で「昔は物がなかったが良かった。人との繋がりも深かった。今はあまりにも金を使う時代だから、大変だよ」という言葉が出てきた。共鳴しながら趣味について聞いてみると、「魚釣りかな」というくらい。しかし、もう釣りに行くこともない。見るからに生真面目で、実直な、健全な生き方をしてきた人だ。

昔は、夫婦で稲作、ミカンの木の手入れや田畑の草刈り、山の作業と結構忙しかったが、農業だけではやっていけない時代になり、瓦の製造、大工の見習いを10年、62歳の退職まで市内の電気会社を25年間勤め上げた。

その後、健康のためと、少しは家計の足しにもなるかと、シルバーの資料を見て、自発的に会員になった。主な仕事は草刈り。若いときは病気などしたことはなかったが、昨年7月、前立腺癌で手術。今は定期的に検診を受けても異常はない。酒はほとんど下戸に近い方だが、付き合いはいい。

会員になって良かったことは、やはり人を知り仲間ができたことだと、まじめな人が目を細められた。ほっとする瞬間のその笑顔に、長年働き続けた男の自信を垣間見た。シルバーにはまだまだ必要な人だという思いを深くした。



## 元気の秘訣は働くこと

本部 屋外清掃部会 むらやま 村山 とよよし 豊義さん(84歳)



お会いするや、元気の秘訣を聞くと『働いているからでしょうね』と即答!

屋外清掃部会で働いている村山さんは、週3回、朝の8時から12時まで、公園5か所を回っての清掃。りんどうヶ丘緑地と生目台公園4か所をレーキを持って落ち葉を掃くなどの作業である。公園の楠の木は年中落ちるし、イモグスやケヤキの葉っぱなど季節を通して次々落ちるので、2人での作業では結構忙しい。

若いころは日本パルプ(今の王子製紙)に定年までいて、発電機関部で働き、蒸気で電気を起こす仕事をしていた。その後61歳から大型トラックで材木運搬、更にYKK(サッシメーカー)にお世話になり、68歳まで勤めた。やめてから1年間魚釣りばかりで、本庄川では1日いて、鯉やフナがよく釣れ、うなぎも取れたし、年中釣りに行っていた。

家族は、息子さんが消防署で働き、娘さんは福岡で看護師。奥さんは娘さんが中学1年のころ44歳で亡くなった。その後、男手一つで子供たちの世話をし、弁当づくりや掃除・洗濯などしてから働きに出た。だれやめの晩酌はビール1本に1合半の焼酎を飲むのが楽しみ!

趣味としては小鳥を飼うのが楽しみで、メジロ中心に5~6羽。また、YKK時代は、車庫やバンコ(縁台)を作ったりしていたし、今でも家に機械があるので、自宅の車庫や2階のアルミ製のバルコニーも自分で作った。

「85歳まではシルバーで働くつもりだ」との話に、シルバーをやめた後は…と聞くと、「接ぎ木」をしたいと即答。2月ごろが接ぎ木の適期で、技術は要るが若い時の経験があるから心配いらない。梅や柿などの接ぎ木をして、園芸店にも出していたので、楽しみにしている。

84歳にして更なる未来に夢を抱く姿勢に感銘を受けた。



# 粘りが根性の人、何事も一生懸命!

本部 サービス部会 いしかわ 石川 ミチ子さん(82歳)



「じっとしていてもつまらない。仕事をしている時が一番」とおっしゃる石川さんのシルバーでの経験は長い。もともと福岡の生まれ。宮崎ですでに亡くなられた左官のご主人と結婚。産後に宮崎に帰ったまま居着いた。

体をこわしていた夫が先に技能部に入会。その手伝いという形で、女性ながらの技能部に平成元年に入会。やがて、夫の死亡で平成6年に今のサービス部会に代わった。

今年までの職場であった現在の本部事務所である宮崎市環境業務課の、「中部事務所」で清掃の仕事を19年間続けた。主に2人で室内の清掃をする。ときには1人でこなすこともあった。今は市内の「真栄寺」の境内の清掃を月に3~4回している。もう入会して24年になる。「ひったまげる」ような歳月を過ごされたそのすごさに、驚きと感銘を受けた。

家族は子供2人。長女を亡くし、現在は福岡で長男が公務員をしており、孫が女子2人。亡くなった長女の忘れ形見にも女子2人の孫がいる。そんな孫にもなかなか会えないと、ちょっと寂しそう。

これという趣味はないが、シルバーコーラス「弥生の会」(現「桐の花」)に結成時から参加。その時の仲間も少なくなった。

常に仕事に対しては、「金を貰ってやるからには、一生懸命する」という意識と、「働いていれば元気」、「人に迷惑をかけないようにやるだけ」という信念に敬服。まことに、シルバーで生きてこられた人の粘りにこそ、健康の源があると感じさせられた。



## シルバーは人間関係がいい！

本部 技能・技術部会 のなか 野中 みつる 満さん(75歳)



前回まで技能・技術部会長をしていた。その仲間は、技能45名、技術100名ほどで、大工、左官、板金、サッシ、水道設備などの「もの作り」の技術、送迎などの「運転手」などであるが、シルバーとしての仕事は少ない。

以前は年に2回ほど部会の集まりをしていたが、今はそれがなくて皆と会う機会がない。部会の集まりを持って同じメンバーしか集まらない。お互いの絆を深める機会があるといいのだが…としみじみ語る。

今の仕事としては、大工仕事や塗装、瓦葺きの手伝いなどが多い。20歳から75歳まで50年ほど板金の仕事をしてきたので、大工さんの知り合いは多い。普段は、シルバーの仕事よりも、昔手伝っていた大工さんの手伝いが主で、家主さんから仕事の依頼があったときは、自分が行って手伝ったり、仕上げたりする。

板金の仕事としては、氏神様の屋根葺きやダクト、炊事場のステンレス張りなど。シルバー会員になってよかったことは知り合いができたことである。自治会などとの交流は少ないので、シルバーのほうが人間関係ができていい。互助会の新年会や旅行・レクリエーションなどには必ず参加している。

趣味としては、絵が好きで、会員の田中長敏さんに習っている。ひむかに投稿をお願いしたら、遠慮しながらも出品を承諾いただいた。奥さんは民生委員を15年ほどしていて、学校やお祭りなど人の世話で多忙。3人の子供は独立して県内におり、孫もいて落ち着いた日々を送っている。

最後に健康管理法をたずねると、「食事ですね。食欲があるのが一番いい」とのこと。今後のことは、「仲間がいるうちは、シルバーに残ってますよ!」ときっぱり言われた。



# 体の続く限り頑張ります！

本部 管理部会 ながとも 長友 としお 敏夫さん(72歳)



温厚、篤実な人柄である。現在の仕事の「大淀学習館」での話から始まった。主に子ども向けの「昆虫、水の生物」の展示会などの監視業務をしている。

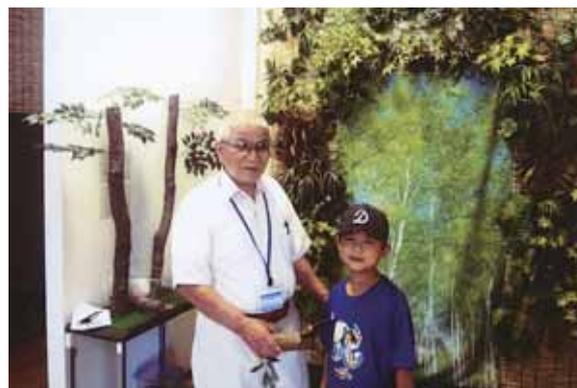
定年1年後に入会した時は、市中央公民館の駐車場の仕事だった。その後「科学技術館」など、監視業務に移り、現在に至る。当時は大変忙しかったが、現在は2人でやっていた仕事も、平日6人、土・日・祝日は4人でのローテーション制になり、時間も短く、ちょっと不満そう。しかし、大いにやる気満々と見た。

簡単な仕事かと思っていたが、監視といっても接客並み。しかも、子どもだけでなく大人もいる。油断すると高価な展示物が傷つけられないとも限らない。常に立って歩き回り、監視を怠るわけにはいかず、大いに神経を使う。

奥さんと娘さん、高1の孫と住んでいる。一度県外に出られ、「トヨタ自動車」に勤務。宮崎で結婚。「福山通運」を21年間勤め上げて退職。孫の世話をしていたが、奥さんの友人のご主人から誘われて、平成12年に入会した。

趣味は若いときにはあれこれやってきたが、今は映画館に月2回くらい行き、テレビもサスペンスとアクションが好き。全くの下戸でありながら、昔は「西橘」を歩いたこともあった。

人と話すのが苦手だったが、シルバーに入ってから仲間ができてよかったとおっしゃる。しかし、気の合った人が次々と亡くなり、いかにも残念そう。本人は病気知らず。これからも体の続く限り「頑張る」とおっしゃった一言が印象的だった。



## 5年間毎日筆を持ち続ける！

本部 事務部会 おちあい 落合 よしひろ 孝啓さん(73歳)



入会のきっかけは、今の青少年プラザに行った折にシルバーの存在を知ったことだった。そこで筆耕の講座に出会い、喜んで習い始めた。そんな矢先、宮崎総合警備の仕事(月15日間の夜間勤務)について。

家で出来る仕事として、「賞状書き」の認定試験があることを知り受講。佐土原浩先生が、「5年間毎日書きなさい。続けていたら急にうまくなる時がくる」と言われて実践し、2センチ角のマスの中に毎日書いている。また、故宮口學男先生からは、「筆を立てよ」と言われて、それを心掛けている。

「継続は力なり」を信じて、「5年間筆を握る決意をした」と、その練習用紙を見せていただいた。

現役のころは石油関係の会社に勤めて、48年間ほど販売業で営業から経理などの仕事をした。石油ショックが2回あり、漁業関係から血判まで付いての要請があり、石油調達についてメーカーとの交渉をして、何とかしのいだことは今では懐かしい。

シルバーに入ってよかったことはと聞くと、「何とか人に見せられる字を書けるようになったことだ」とのこと。因みに、宛名書きをしているとき、50枚書いた後、2枚の追加を頼まれ、期限より早めに納品した。それに感謝の手紙が来て感激したとのことで、その手紙も見せていただいた。

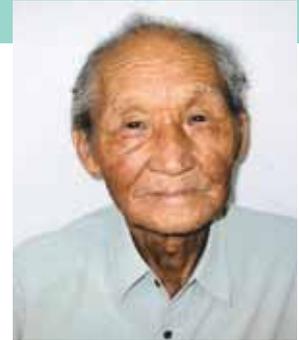
今後は、「書く仕事は苦にならないし、喜びであり、生きがいともいえる。人に喜ばれるのは嬉しいし、これからも健康に気をつけて、いい字が書けるようにしたい」と「生涯現役」を覚悟しておられる。

妻と子供と3人暮らし。趣味はゴルフで、ハンデー15、かなりの腕前である。読書も好きで、市の図書館から本を借りては読んでおり、最近は囲碁を始めて友達から習っている。健康管理については、定期的に受けて、夕食後は80分程度の散歩が日課である。



# いくつになっても習うことばかり

清武支部 草刈・除草部会 ますもと 増元 よしお 義男さん(85歳)



85歳にして、体力・気力・思考力ともに抜群の増元氏取材した。お会いした時は60歳代かなと思って、話すうちに正真正銘の85歳だと聞いて、この人の生き方には凡人には理解できない方程式があるのではないかと思わされた。

現在は清武支部で剪定・草刈りをはじめ農作業もしている。現役時代には近くの建設会社で、コンクリート型枠の仕事を中心に70歳まで働いていた。

70歳でシルバーに入会し、最初は師匠の金子誠先生から剪定の基礎を学び、作業現場では要領もよくなり一人立ちでき、お客さんからも好評だった。

仕事の現場では、85歳の増元さんが「ヘッジトリマー」などを使ってきれいに仕上げる。それを見て「ねんしゃ念者じゃなあ」などと喜んでいただくのが嬉しいと、仕事に生きがいを感じておられた。

シルバーに入って良かったことは、「人との触れ合い」や「元気で働けること」だと即答！ 奥さんを84歳で亡くしたが、3人の子供と孫にも恵まれ、娘や息子たちと同じ敷地内に住んでいるとのことで、幸せそうである。

趣味は「日本舞踊」で、25歳から習い始めてそのとりこになり、職場やシルバーの研修旅行などでも披露される。踊りの写真を見ると、立ち姿が実に美しく、堂に入った振りが推測された。

夜は9時半に寝て朝6時に起床の生活で、元気そのもの。「あんたがやめたらあかん。皆でついていこうからやめんでな！」と仲間たちから言われる。

最後に、「これからの夢」を聞くと、「いくつになっても習うことばかりですわ」と力強く言われた後、「体が限りシルバーを続けることですよ」と、頼もしい決意に不思議な高揚感を抱かされた。



# まだまだ若い者には負けられん!

かわごえ みちよし  
田野支部 植木部会 川越 道義さん(81歳)



髪はふさふさ、歳を聞かなければまだ十分70代で通る人である。そればかりか、いかにも健康そうながっちりとした筋肉質の体格。それもそのはず、学校を出ると材木会社の事務、出稼ぎ、20年の運転手生活と、いろいろな職業をこなしてきたからだ。

休職中に造園会社の草刈りの石が自分の軽トラックに当たりガラスを割った。その会社を補償問題で訪ねた時、社長から「誰か仕事をしてくれる者はおらんじゃろか」と聞かれ、自分の家の木の剪定に役立つかもと、その会社に8年。シルバーでその技能が活かせるとは思ってもよらなかったようだ。入会は平成11年。この支部では最も古い会員のひとりなのだ。

仕事は剪定が専門。剪定は2人の会員で組み、忙しいときには助っ人を頼む。常連のお客も多く、喜んでもらうのが最高。造園会社でいろいろやってきたが、講習会でまだまだ学ぶことも多いと、謙虚である。

話の途中で、支部長が「大変素晴らしい人で助かっています。何事も意欲的でチャレンジ精神が旺盛、機械でも積極的に扱う。そういうところはなかなか真似のできない人です」という誉め言葉。

「ダンベル体操もやっています」と言うから、何事かと思っていたら、体育館で市民10人くらいに週1回、指導しているとか。もう10年になる。姿勢が真っすぐで、健康なものなるほどと合点。

奥さんは10年前温泉地で倒れて亡くなり、今は独り暮らし。ひとり娘は結婚して県外。孫は高1を頭に男の子2人と女の子2人の4人。今は小学時代の同級生と頼母子講をして、年1回の旅行が楽しみ。とにかく、体を動かすだけで疲れが取れると言う。まだまだ後輩を引っ張ってほしい存在である。



# 仕事が趣味みたいです！

佐土原支部 農作業部会 はっちょう 八朝 キクエさん(72歳)



佐土原町のフェニックス動物園に近い農作業の作業現場を訪ねた。

かまぼこ型のハウスが立ち並ぶ田園地帯の農家の作業場で、今一番忙しいショウガの袋詰めをしていた。昼休み時間を利用しての取材。クーラーの入った休憩室で、同じ会員の2人の方と休んでいた。

お話は別の日ということにして、早速仕事場を見せて貰った。作業は取れたてのショウガの計量、袋詰めにする農作業。仕事は、時にはピーマンもあり、冬から夏まで不定期にあって結構忙しい。

シルバーに入って11年。今は足の関節痛で無理な仕事はあまりできなくなったが、農作業は県農業試験場での仕事や、民間の育苗会社の仕事もしてきた。

えびの市の加久藤生まれの彼女は、隣町の大工の主人と25歳で結婚。一男二女の子供を授かった。今、長女と長男は宮崎に住んでおり、千葉にいる次女も、つい最近父の不意の入院に孫達を連れて見舞いに帰ってきてくれた。全部で6人の孫に恵まれた。取材を申し込んだときから、盛んに「私はそんな柄じゃない。他にも人がいるから」としきりに辞退され、支部長からも説得していただき、承諾してもらったという経緯がある。ひじょうに謙虚、誠実な人柄である。

会員になったのは、隣家の方に誘われてのこと。「私の人生は、人に恵まれ、仕事に恵まれたのが良かった」と話され、「これという趣味もない。シルバーの仲間と旅行に行くことと、働くことかな」と笑った顔がとても印象的だった。



# 発注者の声

## 誠実な会員さんに恵まれて

宮崎県護国神社 <sup>ねぎ</sup> 禰宜 鬼塚 圭司



宮崎市シルバー人材センターには、設立30周年の佳節を迎えられ、まことにおめでたくお祝い申し上げます。宮崎県出身戦没者41,000余柱をお祀りする当神社が、シルバーさんに境内清掃を依頼してから、早くも20年余りが過ぎました。皆様の仕事ぶりは、同様に誠実で、7年8年もの長きに亘る人もおられ、早朝の清浄な神域での作業が元気の源だそうです。仕事の評価は、「いつも綺麗にしてありますね」と声を掛けてくださる参拝者の挨拶です。

神社で奏上する祝詞に、<sup>のり</sup>おのおのが持つ職務に励み勤め、世のため、人のためにも尽くしなさいと、人の生きる道を示している一節があります。願わくは、会員の皆様には、還暦、古稀を経ても尚、仕事ができる健康な体を授けられた親への感謝を忘れず、地域社会のために活躍、奉仕され、若い世代の良き道しるべとも、子孫の鑑とも<sup>かみ</sup>仰がれんことを願ひ上げます。

末尾ながら、誠実な人材の宝庫として、益々充実発展されますようご期待申し上げます。



## 継承 ～輝かしい未来へ～

介護老人保健施設 シルバーケア野崎 吉屋 清彦

宮崎市シルバー人材センターの設立30周年おめでとうございます。また、当施設への日頃のご協力とご理解を賜り誠にありがとうございます。

日本は、世界でも類をみない速さで高齢化社会から高齢社会に移行し、2007年に超高齢社会となりました。本県は全国より早く超高齢社会に突入し、平成32年頃には3人に1人が高齢者になる予想も出ております。

日本人の平均寿命も世界の上位を占め、第一線を退いても平均寿命を全うするまでに約20年の生活を送ることとなります。まだまだ働き盛りで、貴重な技術を持った人材が活躍する場が必要であり、シルバー人材センターはまさに今の時代に必要不可欠であると考えます。

当施設は介護保健施設として18年目を迎えました。長く生きた体験を語りついでくださる人生の先輩方の介護は大変やりがいのある仕事です。「<sup>ふる</sup>故きを温ね<sup>たず</sup>新しきを知る」豊富な経験と長年の知識や技術から導き出される感覚はまさに日本の財産です。今後も、多くの優秀な皆様方が活躍できる場が広がり、貴重な財産が次世代に受け継がれることができるよう、微力ながらご支援させていただきたいと思ひます。

最後になりましたが、設立30周年に至るまでの、関係各位のご努力に対し、心から敬意を表するとともに、益々のご発展を心から祈念いたします。



## 設立30周年に寄せて

株式会社宮崎山形屋 総務部長 長谷川 貞美



この度は、センター設立30周年、誠におめでとうございます。

弊社と宮崎市シルバー人材センター様とは、筆耕者の手配を中心に10年以上のお付き合いをさせて頂いております。最近では、駐車場の管理業務にも人材を手配して頂いており、安心して業務をお任せできております。

ご案内の通り、弊社は百貨店でお客様と係わる場面が随所にあります。筆耕者の方々におかれましては、進物を送られる方の身になって、丁寧で品格のある「のし」を書いて頂いており、弊社従業員はもとより、お客様にも大変、好評を頂いております。また、駐車場は、お得意さまをお迎えする最初の場所であり、またお見送りする最後の場所でもあります。この場所でのお客様への対応如何が、店全体のイメージを左右すると言っても過言ではありません。それだけに、お客様が気持ちよくお買い物ができるかどうか、或いは再度、ご来店いただけるかどうか<sup>つな</sup>に繋がる場所でもあります。駐車場管理をして頂いている方は、弊社の立場をよく理解した業務遂行をして下さり、大変感謝を致しております。

このように、貴センターより手配頂いている方々は、豊富な人生経験を活用して弊社に寄与頂いており、大いにお役立ち頂いております。今後とも、人材豊富な宮崎市シルバー人材センターの活用・利用を図って参りたいと考えております。何卒、よろしくお願ひ致します。

最後に、宮崎市シルバー人材センター様の今後益々のご繁栄とご活躍を祈念申し上げます。



## シルバーに感謝

施設ハウス経営 大野 照次



設立30周年、誠におめでとうございます。私は清武で施設園芸を行っています。現在は、延日数800人位のシルバーさんに来てもらっていて、シルバー会員の力なしでは経営ができないほどになっています。

これもひとえに、歴代の事務局の努力と、会員の真面目さのたまものです。ほかの分野でもそうですが、清武シルバーは、農作業で利用したことがない農家は無いくらい、清武の農家に頼られています。電話1本で適材適所に手配してもらえるので大変有り難く信頼しています。

合併に伴って体制が変わるのではと心配していましたが、変わることがなく一安心しています。農作業への対応は今のままでより発展してほしいと思っています。

最後に、会員の方はとても元気な方が多くて、私たちがパワーをもらうことばかりです。今後も新しい会員を増やし、ますます充実したシルバー人材センターになることを祈念して、記念誌発刊のお祝いの言葉といたします。



# 職群部会報告

設立当初は、どの職群も専門部会という名称でスタートし、平成4年に職群部会になった。

- ①これまでの部会の活動状況、歴史など
- ②仕事の内容・種類・講習会や研修などの内容・今後取り組みたいこと・部会の特色
- ③仕事をする上で楽しみ、生きがい、悩みなどを通しての感想

## ●事務部会

①	<p>シルバーの事業開始の初仕事は「賞状書き」だった。その後昭和63年から「筆耕講習会」が始まり、現在に引き継がれている。</p> <p>また、「包装講習会」は平成4年から平成16年まで続いた。</p> <p>事務部会は個人で就業し、班として仕事をするのがほとんどなく、経費節減のうえから、平成20年度よりこれまでの25班体制を11班に編成替えをした。</p> <p>それでも、班長は顔も知らない、班員を名簿で掌握している状態で、班別活動は機能していない。</p>	
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆耕(賞状・宛名・のし書き)については、認定所持者に限定されているが、その他の仕事としては、交通量(車)調査、通行量(人と自転車)調査、チラシ配り、パソコン入力、宛名書き、観光客アンケート調査、出版社の封入作業、医療申請書の配布と回収等がある。</li> <li>・認定所持者となるための筆耕講習会が年間11回程度設定されている。</li> <li>・就業の機会の増加を願い、一方では就業者として恥じない事前研修などの強化を図りたい。</li> <li>・班長会が機能していない。この現状から脱却する知恵を集約したい。</li> </ul>	 部会長 諸橋 弘 もろはし ひろむ
③	<p>仕事上の楽しみは、依頼者の笑顔に接するときである。私どもは常に「シルバーの誇りは無事故と出来の良さ」をモットーに心掛けていきたい。</p> <p>悩みとしては、部会員に広く仕事が行き渡らないことである。</p>	

## ●植木部会

①	<p>設立当初から活動。昭和58年から「庭木スクール」を開講し、現在の「植木スクール」に引き継がれている。</p>	
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に植木の剪定</li> <li>・年2回の講習(スクール講師の指導を受ける)</li> <li>1回目:松の芽摘み。 5月～6月 場所:中部港湾事務所</li> <li>2回目:一般剪定講習。 9月～10月 場所:市内中学校</li> <li>・安全最優先の精神で、事故防止を図る事。</li> <li>・歴史的な事項はあると思うが、望ましい特色は、部会員全員一丸となり、和を以て絆を強めることである。</li> </ul>	 部会長 東 修月 あずま おさむ
③	<p>お客様のご要望通り、作業を終了し喜んでいただいたとき、生きがいと同時に、地域社会に小さいながら貢献したことを誇りに思う。</p> <p>年2回の講習は同じ事ばかりしているとの意見があるが、受講者は強い意欲を持って学習し、技術の精度を高めなければならない。</p> <p>悩みは、対人関係である。まずは相手の人格を尊重して接することを基本にしている。</p>	

## ●技能・技術部会

①	<p>設立当初「技能専門部会」の名称。昭和63年までは、「木工スクール」「塗装スクール」といった技能講習が行われていました。「障子・襖張替講習会」は平成11年まで行っていました。</p> <p>平成22年、運転業務の技術部門を統合して「技能・技術部会」となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで経験した技能・技術を生かすために設けられた部会です。</li> <li>・まったく新しい分野にチャレンジする会員もいます。</li> <li>・シルバー会員が、いわゆる生活弱者のサポートをする図式があります。</li> </ul>	 <p>部会長 中武 純夫 なかたけ すみお</p>
②	<p>「技能」 ・送迎車両の運転(施設やクラブ) ・荷物運搬</p> <p>「技術」 ・襖の張り替え ・障子の張り替え ・大工 ・塗装 ・電気 ・家庭で困ったこと</p>	
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事を終えた後、お客様より喜んでいただくことが嬉しいです。</li> <li>・利益を目的にしないという、シルバーの趣旨は守るようにしています。</li> <li>・仕事をさせているというお客様がいると辛いです。</li> <li>・部会としての活動がないので、誰が何をしているのかが分からないのが、課題です。</li> </ul>	

## ●草刈・除草部会

①	<p>設立当初は、「除草専門部会」の名称。平成3年からは「軽作業専門部会」という名称になり、平成17年に「屋外作業部会」になった。平成22年「屋外清掃部会」と「農作業部会」と「草刈・除草部会」の3つに分かれた。</p> <p>「草刈機取扱講習会」は昭和62年から始まり、現在に引き継がれている。</p>	
②	<p>「除草」 個人住宅、空き家の庭の草取り、駐車場内の草取り、公共施設内の草取り。</p> <p>「草刈り」 休耕地、空き地の草刈り、駐車場内の草刈り、公共施設内の草刈り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人会員に対しての草刈り講習の実施。</li> <li>・年に1回班長会を開き、安全対策についての協議会を開くこと。</li> </ul>	 <p>部会長 筒井 昭勅 つつい はるとも</p>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をする上での楽しみは月々の配分金によって、好きな釣りに行けること。また、家族全員で食事に行くこと。</li> <li>・生きがいは、お客様の喜ぶ顔、またお礼の言葉。これが仕事をする上での励みとなり、また頑張ろうという気持ちになり、疲れも飛ぶような気になる。</li> </ul>	

# 職群部会報告

## ●屋外清掃部会

① 平成22年に屋外作業部会が3つに分かれて、屋外清掃部会ができました。

② 各地区の公園内でグループで行う野外清掃が多い。その場合、プロアや竹箒たけほうきを使います。時には植物の生産管理かんせい(灌水、除草、花がら摘みなど)もあり、降雨時の仕事はインターの目地除草、大小の池掃除もします。

その他、「フローランテ宮崎」や神社などの清掃、行事などのテント張りや椅子の設置、前後の清掃と、平凡ながら結構変化もあって面白い作業です。

主に野外の仕事ばかりなので、夏の暑さ、冬の寒さはキツイが、会員同士が声をかけ合いながら頑張っ、手落ちのないようにしているところです。



部会長 中武 啓幸  
なかたけ ひろゆき

③ 入会して7年になります。今人気の「フローランテ宮崎」には、平成17年7月から行っていますが、人間関係がうまくいかず、ストレスが溜まり、胃潰瘍になってしまいました。

今は、「フローランテ宮崎」のシルバー班の総班長として、これまたストレスの溜まる日々を送っています。今まで、多くの会員の方々と知り合いになりましたが、その中で海釣りの楽しさを教えてくれたNさん、独り身(妻は平成15年7月病死)の侘びしさを紛らわせてくれたTさん。この2人は、私のストレスを解消してくれた、一生忘れられない人たちになりました。シルバー会員になって、本当に良かったです。



## ●農作業部会

① 平成22年度、屋外作業部会が3部会に分かれて、農作業部会ができた。主に、佐土原、田野、高岡、清武支部会員で構成されていて、男性会員より女性会員の方が多く、就業率99.5%と高いことが特徴である。

② ほとんど一般的には大きな農家の農作業の手伝いが多い。その場合は、キュウリの枝作りやズッキーニの誘因など、剪定に慣れないとできないような作物の育成や苗の植え付けから、収穫までの作業。時にはハウスのビニール張り、マルチ張りなどの植え付けまでの準備もある。

また、公的な機関、農業試験場からの依頼や民間の育苗会社の依頼などもあり、仕事は収穫物の袋詰めなどの軽作業と、農業全般に関係する。したがって、季節労働で不定期なものもあるし、夏場でのハウス内の暑い仕事もある。



部会長 黒木 義英  
くろぎ よしひで

③ 植物を扱う仕事柄、毎日変化があるのでおもしろい。何よりもいいことは仕事の合間の話を通して仲間もできたこと。とにかく楽しい仕事だと思う。時には、仕事のクレームも来ることがある。お金を貰う以上、しっかり仕事をしなければならない。

今、私は会員互助会の楽しい旅行、レクリエーションにも参加して、仕事ができる喜びをかみしめている。



## ●サービス部会

①	<p>設立当初から活動。平成元年から「料理講習会」「福祉・家事援助サービス講習会」など活発に行い、現在に引き継がれています。</p>
②	<p>・げんきプラザ(青少年プラザ)の清掃、個人宅の料理作り、個人宅の留守番、お年寄りの話し相手、お年寄りの買い物のお手伝い、介護施設の利用者の方のお食事のお手伝い。危険を伴うもの以外要望があるものほとんど、ご希望通りの対応をしています。</p> <p>・講習会・研修会等、過去数年、5回～6回、年によっては8回実施したこともあります。内容としては、昨年が生活習慣病予防について料理講習会が2回、救急防災講習会。その中に応急手当、救命講習、地震体験もありました。清掃講習(好評だったため、今年7月28日実施しました)。</p> <p>・今年はサービス部会員さんとの話し合いの場をと思い、意見交換会、清掃講習会(2回)、料理講習会、介護支援講習会を実施します。</p> <p>・家事のことなら何でも出来る、清掃のことなら何でも出来る、老人介護の域の年齢に達している皆さんが多くおられますが、ベテランの人たちばかりです。救命救急の講習も何回となく受けています。対応も安心してお手伝いできるものと思っております。それが出来るのが、サービス部門です。</p>
③	<p>誠心誠意お仕事させていただき、先方様より喜んでもらってこそ、一番の喜びではないかと思えます。“至誠を尽くせ”偉人の言葉ですが、私は大好きな言葉です。何事も中途半端はいけません。喜んでいただくことがシルバーの仕事だと思っております。</p>



部会長 齋藤 正利  
さいとう まさとし



## ●管理部会

①	<p>管理部会が誕生したのが平成8年、16年が経ちました。現在の会員数は150名(うち女性2)で、8部会全員の11%で、契約額は7.3%です。</p> <p>これまでの部会活動の低調を反省し、平成24年7月17日に第2回運営委員会を開催し、講習会を10月の予定で開催することを決定しました。</p>
②	<p>・仕事の種類は、公園、建物、駐車場などの管理と、市の放置自転車の管理です。講習会では、ブレーン・ストームやロールプレイングを取り入れ、「発注者に喜ばれるには」をモットーに取り組みます。</p> <p>「会員心得」について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会員としての自覚と責任。 シルバーを代表している。</li> <li>2. 就業心得 笑顔で背筋を伸ばして元気よく。就業の場は多くの人に接し、常に見られています。</li> </ol>
③	<p>就業中のハプニング</p> <p>橋通り3丁目で、ヨチヨチ歩きの女兒が車道に転げそうになり、すばやく抱き上げ、母親らしい人を探したが見当たらず、しかたなく最寄りの交番に連れて行きました。</p> <p>しかし、女兒は交番がいやなのか、大声で泣き出すし、当直も困り果て、仕方なく外で待つこと25分。母親が青い顔して現れ、「謝々」。救いは女兒のにこにこ顔だったことです。就業の場は「修養の場」と見るようにしています。</p>



部会長 久永 俊博  
ひさなが としひろ



# 地域活動

## 吉村地区の地域での活動

吉村地区責任者 やまうち 山内 まさお 正雄



現在まで取り組んできた地域での活動を述べてみる。

### 1. チラシ配布

- (1)毎年「あおき憶地区文化祭」に参加して行う。
- (2)昨年は、平成23年10月23日午前10時～11時半頃まで。
- (3)活動の内容は、①チラシ配布(シルバー会員の仕事の内容)、  
②新会員の勧誘、③お客様の相談受付など。
- (4)配布場所は憶中学校内・PTAバザーコーナー付近。
- (5)出会者:吉村地区班長、本部事務局員(昨年は9名)



この活動は本年度で4回を迎えるが、憶住民と馴染み深くなってきて、会話も自由にできるまでになる。また、この活動の結果か、新会員も8名入会し、センターへの仕事の発注も急に増えてきている。今後も継続していきたい。

### 2. 憶地域まちづくりイベント「プチ・マルシェ」に参加。(ふれあい広場の開催)

宮崎市地域振興部地域コミュニティ課の、憶地域事務所のコーディネーター、及び事務局長と地区責任者3人でボランティア的活動はないものかと相談した結果、この行事に参加することになった。

初めはこのイベントを参観させてという話だったが、結果的には「餅つき」と「餅まるめ」を依頼され、たいへん喜んでもらった。3人の話し合いで、「ボランティア活動は吉村地区としては、①公的な行事に主に参加する。②高齢者であり生活能力のない人の家の周囲を、除草や掃除などの手伝いを2、3件行いたい。それ以上のものはセンターの仕事として行う」などを決めた。

昨年は、12月11日(日)9時30分～11時まで。会場は憶公民館の駐車場。参加者は地域班長5名。今後は地域班長だけでなく、会員にも呼びかけたい。



# 「真の人生」いま、旬しゅんを生きて

赤江南地区責任者 ねい根井 はじめ初



おおよそ、齢60歳を過ぎる頃からを、第二の人生だと言う人は多い。

小生も同様の気持ちでいたが、40年間勤めた会社を退職して間もない頃に、友人からの勧めで、「そうか、これからは第二の人生、もてる気力、体力と経験が地域社会に何らかの役に立つものであれば」と思い、宮崎市シルバー人材センターに登録したことである。

それから15年間、実に様々な就業機会に恵まれた。また、一方では見たこと、聞いたこともない人生経験をした会員との交流が、暮らしが、働きが、いとなって、そのまま生きが、いとなった。実に楽しい時間を過ごしなが、今この人生は第二の人生ではなく「真の人生」であると確信したことである。

今、齢75歳、後期高齢者の仲間入りをして、会員数90余名の赤江地区責任者として、会員相互の親睦増進とシルバー人材センターの事業の理解と協力をいただくため、情報伝達などを行っている。

また、毎年秋季には、大塚、大淀、赤江北、赤江南の4地区合同で、こどものくに遊園地へ地域ボランティアとして、樹木整枝、草刈り、除草などの奉仕作業を実施している。

こうした活動に参加する会員は、心身共に健康である。仲間と豊かさ、楽しさを共有して、お互いを理解し合える喜びと満足感があるようだ。

人生まさに、いまが旬である。ここからまたおいしい人生が始まり、もっと面白くなりそうである。

生活は簡素に、心は豊かに、持ち得るこれからの時間も、宮崎市シルバー人材センターのさらなる発展と、地域社会への奉仕、貢献のため、あいまし相戒め、相励まし合っ、いこう。



安全講習会



こどものくに 奉仕作業

# 子どもたちにボランティア体験を

佐土原支部久峰地区責任者 もがみ 毛上 てつろう 哲郎



日本はボランティア後進国と指摘されております。「自分さえよければ他人はどうでもいい」という、いやな言い方ですが、島国根性が根強く残っています。あるいは、欧米のキリスト教的「奉仕」の意識が薄いためでしょうか、ボランティア活動というものは、議論よりも実践が大切な活動だと思います。

23年、佐土原支部は早朝から社会福祉センターに集合し、各関係者の挨拶が終わった後、それぞれの部署に分かれて奉仕作業を開始しました。今年度も10月19日は、恒例の奉仕活動として開催される予定です。

今日マスコミでクローズアップされている子ども達のいじめ問題。子ども達が学校で教育を受けているという生活時間はわずかなもので、ほとんどは家庭や一般社会でみんなにもまれながら成長しているのです。現実社会の痛さ辛さは一般の大人達が一番よく知っているのではないのでしょうか。

私たち大人の経験を子ども達に納得のいくようによく教育すべきだと思います。もし子ども達の教育現場に一般大人達が参加できることが可能ならば、私たちが恒例としている奉仕活動を通して、奉仕精神育成の場として、シルバー事業の理念である「自主・自立、共働・共助」の精神を身につけ、人間として成長するのであれば、ぜひボランティア体験学習として一緒に奉仕活動に参加してみたいと思います。

今年度から公益社団法人に移行しましたが、これも地域の健全な発展の一環として、子ども達が社会との関わりを自発的に持たせる手助けとして貢献してみたいと思います。



# 高岡地区の活動



高岡地区責任者 こくぼ 小窪 ひであき 英昭

## 1. チラシ配布

- (1) 毎年「天ヶ城開門まつり」に参加して行う。
- (2) 今年は、平成24年3月31日午前11時～11時30分まで。
- (3) 活動の内容は  
①チラシ配布 ②新会員の勧誘 ③お客様の相談受付、発注依頼
- (4) 配布場所は天ヶ城公園正面入口付近に、高岡支部の会員35名が集合し、配布、啓発活動と広報活動に取り組みました。終了後に花見に移り、各自「一品持参」も今回より取り入れ、会員同士の情報交換と親睦をはかり、楽しい一日を過ごすことができました。

## 2. 「シルバーの日」活動

- (1) 高岡福祉保健センター「ほくえんかん 穆園館」の草刈り、除草、剪定作業。
- (2) 昨年は10月21日「シルバーの日」はあいにくの雨模様でしたが、安全講習に関する行事を室内に変更して開催しました。偶然にも雨が止んだために、33名で奉仕作業を行うことができました。

## 3. 会員さんの声を聞く会

- (1) 平成24年7月20日18時～19時30分 高岡支部会議室
- (2) 全会員65名の参加。男性17名、女性19名、計36名。
- (3) 会の趣旨は、会員さん同士の団結力を高めるため。

この会は初めての実施でしたが、生の声を直接聞くことで問題点が見えてきました。打開策の一つとして、相手の立場になっての言動が最重要と分かり、会員同士再確認でき、一致団結して高岡支部を盛り上げようと確認して、閉会しました。



# 普及啓発活動

## 《奉仕作業》

毎年シルバーの日に、本部・各支部とも安全講習会と奉仕作業を行います。



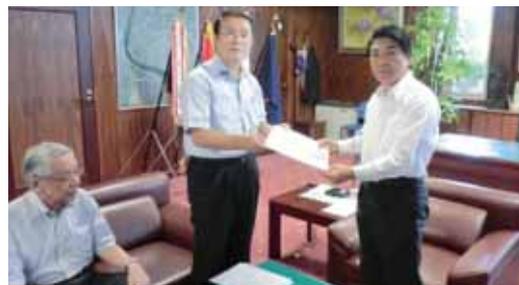
清武支部



奉仕作業（こどものくににて）

## 《企業訪問、市各課訪問》

8月に市各課、10月の普及啓発月間に、センター役職員が企業訪問し、普及啓発活動を行います。



市長訪問



企業訪問

## 《楠並木活き活き物産展》

平成22年から毎年11月初旬に開催される県連合主催のシルバー物産展に参加しています。



## 《街頭宣伝活動》

シルバーの日に、山形屋前でシルバーの活動や会員募集、仕事の依頼などについて宣伝活動をしています。



# 指定管理事業

## 「げんきプラザ」

### 宮崎市青少年プラザ・宮崎市北部老人福祉センター

平成23年10月1日にリニューアルオープンした「げんきプラザ」を、宮崎市社会福祉事業団と宮崎市シルバー人材センターが共同で管理運営しています。

シルバー人材センターはおもに宮崎市青少年プラザを担当しています。

#### 事業内容

- ◎定期講座・短期講座・研修会の実施
- ◎相談業務の開催
- ◎施設の貸出しなど

#### おもな講座・研修会

- ◎英語・パソコン・着付け・介護事務・料理  
ギター・ピラティス・ヨガ・バスケットなど

#### 相談業務

- ◎こころナビゲーション  
「自分に出来ることは何か!」を見極める。  
これからの人生について考えていく「キャリアカウンセリング」です。



げんきプラザ



講座・研修風景

## 高年齢者就業促進事業

平成23年度宮崎市受託事業として、55歳以上の高齢者を対象に、無料就業相談室を開設。103件の就職決定がありました。

平成24年度は、40歳以上を対象とした『中高年齢者就職支援強化事業』を受託。青少年プラザに相談室を開設しました。



## 各支部紹介

### [ 佐土原支部 ]

樋口 光秋

佐土原支部は昭和59年に任意団体として立上がり、準備期間を経て昭和62年2月3日西都・佐土原広域シルバー人材センターとして正式に法人として設立した。当初の会員数は西都・佐土原合計185名である。

平成24年6月末現在の会員数は199名(男性134名、女性65名)である。過去に遡ると、平成元年同月は34名(男性19名、女性15名)20年前の平成4年は71名(男性39名、女性32名)10年前平成14年は222名(男性136名、女性86名)であった。10年前と比べると男性2名減、女性21名減で女性の減員が大きい。年齢構成を10年前と比較すると、明らかに高齢化が進んでいる。(右図参照)



佐土原支部

#### 年齢構成

	平成14	平成24
65～69歳	43%	30.7%
70～74歳	27%	31.7%
75～ 歳	11%	20.0%
平均年齢	69歳	70.2歳

#### 取扱実績

	件数	金額(千円)	累計(千円)
平成24 6月	176	8,290	23,146
平成19 6月	229	12,207	36,800
平成14 6月	169	14,017	36,954

平成19年を境に大きくダウンしている主な原因は「ホンダロック」と「久峰総合公園」の就業が無くなったためである。久峰総合公園はその後指定管理者として県公園協会が維持管理を担当している。

佐土原支部の職群別特徴は、農作業、剪定、草刈・除草の3部門が契約金額全体のほぼ95%を占めている

と言っても過言ではないということである。実際会員数も男性134名中89名がこの3部門に登録しており、女性では65名中55名が農作業・除草班に属している。特にハウス農家では、10月～5月の期間どこかのハウスでは必ずシルバーの女性会員がピーマンや茄子やキュウリを収穫している。

また、草刈作業としては、宮崎市近郊や他地域に比べ新興造成の住宅地のりめんに法面が多いと言われていて、その法面の草刈作業の占める割合が大きい。ちなみに、草刈班では、夏場の健康管理対策として午前中で作業を終了し午後は休息するという方法をとっている。その効果で、最近では体調不良の方は一人も出ていない。

当支部には他支部にはない作業がある。それはチップーと言われる作業である。

剪定や草刈作業で出た残さいを作業場に運び入れ、樹木と草に選別して専用の機械で粉碎する。手元から挿入した木が粉碎され先端のノズルからチップ状となって勢いよく飛出す。そのチップは肥料として利用できるのも、町内の農家や家庭菜園の方から欲しいとの声があれば無料で提供している。

通年の行事としては、3月の花見の宴(久峰総合公園)4月佐土原春まつり会場での宣伝活動(チラシ配布)10月シルバーの日に併せた社会奉仕作業(社会福祉協議会周辺と総合支所周辺の剪定・草刈・除草)、及び健康ふくしまつり(社会福祉センター)会場でのチラシ配布活動、また、12月支部主催大忘年会が挙げられる。

今後の課題は一にも二にも会員を増やすことにある。具体的には、農作業を希望する方で特に女性を増やすことは喫緊の課題である。企業の65歳定年が浸透していく中で、60～65歳の会員獲得はますます厳しくなってくる。

従って、それ以上の年代の会員の方たちの就業機会がさらに増えてくる。健康管理を図りながらも発注者の満足のいく仕事を遂行していかなくてはならない。

「自主・自立、共働・共助」の理念を常に念頭に置き、安全就業を何事にも優先させ地域社会の発展、住民の幸福に貢献できるシルバー人材センターであるよう邁進していきたい。

## [ 田野支部 ]

谷口 清子



ふれあいセンター

### 支部活動状況

田野支部は平成11年5月に任意の団体として会員数85名でスタートしました。現在の会員数平成24年6月末で61名(男性47名、女性14名)です。

旧国道269号線沿い田野総合福祉館ふれあいセンターの一室が田野支部の事務所です。

周りを小学校と中学校のグラウンドに囲まれ、休み時間には生徒たちの賑やかな声、放課後はクラブ活動の元気な掛け声を聞きながら、自然がいっぱいの鰯塚山を背に奮闘の日々です。

田野の大根やぐらは冬の風物詩です。土地柄もあり農作業の依頼が多いのですが、動ける会員が少ないなど問題を抱えています。

仕事の受注は、剪定、草刈・除草、特に草刈作業は公共からの割合が大きい。

技能・技術部会の会員で理容業を営みながら会員として特別養護老人ホームの皆さんの散髪を長年引受けている方もおり、入所者の皆さんに喜んでいただいております。行事としては、4月に運動公園での花見、8月太鼓フェスティバルで啓発活動、チラシ配布、10月シルバーの日に併せて総合支所周辺の奉仕作業、11月健康ふくしまつり会場でチラシ配布、12月支部忘年会などを行っています。

田野支部の課題は、会員を増やし発注者のニーズに応えられる体制作りが必要と思っています。

厳しい経済情勢が加速するなか、改めてセンターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の<sup>もと</sup>下地域住民に貢献できるシルバー人材センターとして、会員の皆さんと共に邁進していきたいと思っています。

### 年齢構成

	男性	女性	合計	構成比
64歳以下	9	2	11	18.0%
65歳～69歳	16	8	24	39.4%
70歳～74歳	15	4	19	31.1%
75歳以上	7	0	7	11.5%
計	47	14	61	100.0%



設立当初より会員減少は、高齢化と体調不良等、そして宮崎市との合併時に退会者が多数出たため会員数の減になり、会員獲得が今の課題です。

### 事業実績状況

(千円)

年度(平成)	11年	17年	18年	19年	23年
事業実績	4,696	31,934	33,379	29,687	29,503
受託件数	98	564	545	506	505

平成18年度を境に企業の大口が指定管理業者に代わり実績ダウンとなる。

## 各支部紹介

### 【高岡支部】

関本 健治

高岡町の中心街は宮崎市街から西に約13kmにあります。町の中央を東西に大淀川が流れ、平地部は主に大淀川沿いにあり、それを挟むように全体的に低めの山地が広がっています。人口は約12,000人、世帯数約5,200の町です。

名所としては天ヶ城公園、月知梅、去川のイチョウなどがあります。また、「病気を診ずして病人を診よ」の言葉で知られる“ビタミンの父”高木兼寛の出身地です。

高岡支部の前身「高岡町シルバー人材センター」は、平成8年9月、会員数38名(男性15名・女性23名)で発足しました。

初代理事長は志知島敏身(元町長)で、年間契約額は約4百万円でした。平成10年には会員数129名、平成15年には年間契約額6,300万円と最高の結果を残しました。

その後、行政の合併に伴い、平成18年4月に社団法人宮崎市シルバー人材センターに統合となり、同高岡支部として活動しています。現在会員数は65名(男性35名・女性30名)、平均年齢は全体で70.0歳(男性69.4歳・女性70.7歳)。特に女性の比率が46.2%と高いことが特徴です。

平成23年度契約額は40,356千円で、公共事業が約2割、民間事業が約8割となっています。主な就業は草刈り・除草が39%、農作業が31%と高い比率となっており、ほとんどが屋外での就業が占めています。近年は、きゅうり、日向夏、マンゴーなどの農家から作業に対する信頼を得、女性会員の就業の場が広がっています。

就業意欲の旺盛な“元気の良い”会員さんが、みんなで協力しながら楽しく頑張っています。



高岡支部

#### 会員数・契約額の推移

年度(平成)	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
会員数	68	104	129	120	125	119	125	103
契約額(千円)	3,909	16,933	33,048	45,228	56,216	58,949	62,175	63,356

16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
98	86	62	58	61	64	61	61
62,542	54,530	44,417	39,037	36,017	33,128	35,337	40,356



穆園館での奉仕作業

## [ 清武支部 ]

長友 恵子

仕事内容は、主に農作業の依頼が多い。また、剪定・草刈もあるが、ほとんど野外作業のため、天候に影響されやすいのが現状です。また、合併後は、あまり変わりはないが少し管理の仕事が増えました。しかし、仕事はあるが会員ができる仕事来ない、また交通手段が来ないなど、幾つかの問題があるのも現状です。

行事としては、年1回の互助会の1泊・日帰り旅行や新年会など。あとはボランティアで奉仕作業をしています。しかし、合併後の旅行や新年会などは参加者が少ないので、他の支部ともなるべく交流を深めてもらいたいと思っています。清武支部は来年で20年目を迎えます。これまで、積み重ねてきた実績を守りつつ新しい改革も必要としています。これには、健康第一だと感じています。この節目に、新たなスタートとされるようみんなで頑張っていきたいと思っています。

最後に、長寿大国となった日本にとって消費税や社会保障問題など、高齢者への負担がますます大きくなってきています。センターでの事業はこれからもっと必要とされるのではないのでしょうか。シルバーパワーに期待をし、ますます発展していくことを願っています。



ふれあいセンター

### 歴史的な経過

平成 5年 8月 任意団体として設立 初年度末は会員数30人、事業実績約120万円でスタート  
 平成16年 4月 補助金なしで事業運営(平成20年3月まで)  
 平成20年 2月 法人設立総会(2月29日)  
 平成20年 4月 「社団法人 清武町シルバー人材センター」設立(4月1日)  
 平成21年12月 宮崎市との合併契約書の締結(12月22日)  
 平成22年 1月 臨時総会(1月7日)  
 平成22年 3月 解散総会(3月19日)  
 平成22年 4月 「宮崎市シルバー人材センター 清武支部」として新たなスタート(4月1日)

### 会員構成

(平成24年3月現在)

平成24年3月 男78名 女42名 合計120名  
 (平成 6年3月 男23名 女16名 合計 39名)

	男性	女性	合計	構成比
60歳未満	0	0	0	0.0%
60～64歳	12	7	19	15.8%
65～69歳	11	6	17	14.2%
70～74歳	34	20	54	45.0%
75歳以上	21	9	30	25.0%
計	78	42	120	100.0%

### 事業内容の状況 (平成23年度)

#### ■契約金額

年度	会員数	受注件数	就労延べ人数	契約金額(千円)
5	39	126		1,214
6	42	316		7,328
7	34	372	2,176	9,791
8	46	361	2,343	11,634
9	57	471	3,701	18,429
10	67	647	4,460	26,762
11	92	959	7,346	35,210
12	110	1,232	9,126	43,933
13	108	1,381	8,601	41,285
14	98	1,506	9,328	43,748

年度	会員数	受注件数	就労延べ人数	契約金額(千円)
15	112	1,571	10,709	51,403
16	110	1,758	13,042	64,835
17	137	1,946	15,168	80,009
18	129	1,841	15,245	82,758
19	127	2,003	15,040	80,207
20	132	1,887	14,657	78,663
21	126	1,814	14,450	77,660
22	117	1,796	14,632	78,430
23	120	1,682	13,997	75,490

#### ■作業内容の現状

内容	契約金額(円)
事務	22,905
植木	7,921,532
技能・技術	1,158,445
草刈・除草	18,406,085
屋外清掃	398,975
農作業	46,697,482
サービス	79,376
管理	805,200

# 会員互助会の歩み

	行事等	関連写真
平成5年度	5月28日・会員互助会設立総会 1.会則 2.会則施行細則 3.事業計画・収支予算 4.役員を選任 ○設立経過・設立趣意書・経過報告・成立宣言 10月 研修旅行・霧島温泉186名 3月 歩こう会 [会員・男474名 女180名 計654名]	 <p>初代会長 清山義美 書記 荒木郁夫</p>
平成6年度	4月 宮崎ふるさとまつり総踊り77人 5月 通常総会 6月 会場作品展示会 NHKロビー 10月 研修旅行日南市・A班95人 B班73人 1月 健康講座・57人 3月 レクリエーション大会 大淀川河川敷127人	 <p>歩こう会レクリエーション大会</p>
平成7年度	4月 宮崎ふるさとまつり総踊り 72人 5月 通常総会 6月 会場作品展示会・宮交シティ 10月 研修旅行 皇子原公園 213人 3月 レクリエーション大会・宮崎市総合体育館 178人	 <p>宮崎神宮大祭</p>
平成8年度	5月 通常総会 10月 研修旅行 酒泉の杜・A班130人 B班120人 3月 レクリエーション大会 宮崎市総合体育館 142人	 <p>レクリエーション大会</p>
平成9年度	4月 宮崎市ふるさとまつり総踊り 5月 通常総会 10月 研修旅行 青島太陽閣 A班 B班 2回 3月 レクリエーション大会 宮崎市総合体育館	 <p>市民総踊り参加</p>

	行事等	関連写真
平成10年度	3月 レクリエーション大会・宮崎市総合体育館 5月 通常総会 書記 田中賢二 10月 研修旅行 シーガイア	 <p>レクリエーション大会</p>
平成11年度	5月 通常総会 事務長 甲斐忠視 3月 レクリエーション大会 宮崎市総合体育館	 <p>研修旅行</p>
平成12年度	5月 通常総会 3月 レクリエーション大会 宮崎市総合体育館	 <p>宮崎ふるさとまつり</p>
平成13年度	5月 通常総会 2代会長 吉留善郎 3月 レクリエーション大会 10月 鹿児島研修旅行 シルバーコーラスが「サンヒルきよたけ」慰安訪問	 <p>2代会長 吉留善郎</p>
平成14年度	5月 通常総会・設立10年記念式典 8月 えれこつちや宮崎市民総おどり参加 147人 9月 日帰り研修旅行・牧水百済の里 49人 10月 1泊研修旅行 阿蘇・別府 147人 11月 シルバーコーラス「シルバーケア野崎」慰安訪問 3月 レクリエーション大会 県立芸術劇場 221人	 <p>宮崎市シルバー人材センター・コーラス</p>

行事等

関連写真

平成15年度

- 5月 通常総会
- 8月 えれこっちや宮崎市民総おどり54人
- 9月 日帰り研修旅行人吉 46人
- 10月 1泊研修旅行 天草雲仙 128人
- 2月 会員作品展カーリーノ 195点
- 3月 レクリエーション大会 県立芸術劇場 224人



シルバーコーラスのボランティア活動

平成16年度

- 5月 通常総会 事務長 大石博
- 7月 えれこっちや宮崎総おどり参加 44人
- 9月 日帰り研修旅行 コスモス牧場 51人
- 10月 1泊研修旅行 湯の児温泉 98人
- 3月 レクリエーション大会 県立芸術劇場 228人



えれこっちやみやざき総踊り

平成17年度

- 5月 通常総会 事務長 渡辺宗寛
- 7月 えれこっちや宮崎総おどり参加 45人
- 9月 義援金送呈互助会 52,587円を加え 540,000円
- 9月 日帰り研修旅行 霧島
- 10月 1泊研修旅行 大分 新年会芸能大会 107人
- 3月 レクリエーション大会 県立芸術劇場 208人



えれこっちやみやざき総踊り

平成18年度

- 5月 通常総会 事務長 甲斐忠視
- 7月 1泊研修旅行 雲仙 120人
- 7月 宮崎総おどり参加 65人
- 10月 日帰り研修旅行 鹿屋 76人 新年会プラザ宮崎 111人
- 3月 レクリエーション大会 県立芸術劇場 208人



新年会・ご馳走を楽しむ

平成19年度

- 5月 通常総会 3代会長 田中正平
- 11月 1泊研修旅行 鹿屋 118人
- 1月 新年会,芸能大会 青島サンクマール 148人
- 3月 レクリエーション大会 県立芸術劇場 188人
- 通常総会 会員作品展会 NHKギャラリー 出品者 28人



3代会長 田中正平



会員作品・油彩 田中正平画

行事等

関連写真

平成20年度

- 5月 通常総会
- 10月 1泊研修旅行湯の児温泉 芦北町計港うたせ船 99人
- 1月 新年会 酒泉の杜 189人
- 3月 レクリエーション大会 メテキット県民文化ホール 218人
- 通常総会



レクリエーション大会・長友さんの旅傘道中



佐土原支部 ゴルフ同好会

平成21年度

- 7月 通常総会
- 1泊研修旅行 嬉野温泉 134人
- 1月 新年会 青島サンクマール 132人
- 3月 レクリエーション大会 218人 会員作品展会ショップ「楽らく」 出品88点 46人



新年会・横山徳雄さん日舞

平成22年度

- 4月 通常総会
- 10月 1泊研修旅行湯田温泉 168人
- 1月 新年会 霧島ホテル 193人
- 3月 レクリエーション大会 メテキット県民文化ホール 209人
- 通常総会



互助会一泊旅行・秋吉台

平成23年度

- 5月 通常総会
- 9月 1泊研修旅行道後温泉 143人
- 1月 新年会霧島ホテル 209人
- 3月 レクリエーション大会 メテキット県民文化ホール 209人 会員作品展会 青少年プラザ 出品者 51人



会員作品展 花と絵で歓迎

平成24年度

- 5月30日 センター設立30周年・互助会20年記念式典



- 通常総会 4代会長 柳田恒一 事務長 三樹優子
- 10月 1泊研修旅行 別府・阿蘇 129人



4代会長 柳田恒一

## 宮崎市シルバー人材センターコーラス 現「桐の花」

結成 / 平成3年2月7日                      会長 / 勝矢 ミドリ

会員 / [結成時] 男 0名 女 36名 計 36名                      [現在] 男 0名 女 32名 計 32名

### ■これまでの活動実績

- 平成 7年 3月 「宮崎市シルバー人材センターコーラス弥生の会春のつどい」に参加・22年まで毎年参加。
- 平成 8年10月 ねんりんピック宮崎シルバー音楽祭に参加。
- 平成15年 8月 千羽鶴約1万羽を広島市に贈る。
- 平成16年 7月 青島青少年自然の家でウクライナの子供たちと交流会・紙風船・人形・菓子などプレゼント。
- 平成19年 2月 第1回悠楽園から長生園まで22回施設訪問する。

### ■現在の活動状況

- 練習場所・日時 宮崎市中央公民館と芸術劇場練習室で月2回から3回練習(9時30～12時)
- 練習の内容 ラジオ体操で体をほぐし、高見洋子先生の指揮、若井加代子先生の伴奏で、明るく楽しく美しいハーモニーを目指して頑張っている。

- 平成22年 3月 20周年記念演奏会を宮崎アートセンターで創立者桐山恵美さんの指揮で開催。  
宮崎アンサンブルアンダントの賛助出演を賜り、好評でした。  
桐山さんは惜しまれつつ引退。現在顧問として尽力されている。
- 平成22年10月 新しく結成された「ブドウの会」に毎年参加。
- 平成23年 2月 シルバー人材センターレクリエーション大会で2曲歌う。
- 平成23年 4月 東日本大震災の義援金として3万円を寄付する。
- 平成23年11月 宮崎市中央公民館祭「コーラス発表会」で2曲歌う。
- 平成24年 2月 シルバー人材センター30周年記念レクリエーション大会で2曲歌う。
- 平成24年10月 「ブドウの会」(清武半九ホール)に参加。
- 平成24年11月 宮崎市中央公民館祭「コーラス発表会」に参加予定。

※コーラスの名称変更⇒発足以来20年間熱心に指導いただいた桐山恵美氏の功績を称えて平成24年から「女声コーラス桐の花」と名称を変更した。



◀宮崎市シルバー人材センターコーラス 20周年 記念演奏会



青島でウクライナ合唱団と交流▶



第10回宮崎市シルバー人材センターコーラス弥生の会春のつどい

## シルバー民謡クラブ

結成 / 平成21年3月1日      会長 / 河野 喜義

会員 / [結成時] 男 4名 女 3名 計 7名      [現在] 男 8名 女 6名 計 14名

### ■これまでの活動実績

平成21年 互助会 新年会・レクリエーション大会出演 介護施設慰問 4施設 6回  
 平成22年 互助会 新年会・レクリエーション大会出演 介護施設慰問 4施設 7回 地域公民館2回出演  
 平成23年 互助会 新年会・レクリエーション大会出演 介護施設慰問 6施設 8回

### ■現在の活動状況

- ① 練習場所 阿波岐原(火切塚公民館) 月会費1000円
- ② 練習日時 毎月第2 第4日曜日 午後1時～3時
- ③ 伴奏 尺八 / 牧之瀬 孝 三味線 / 津倉 幸子、黒岩 信好、川口 マツ子
- ④ 講師 河野 喜義、島田 秀行

### ■活動内容

- 個々にマスターしたい曲を決めて6月、12月に発表会を実施。
- 各施設団体等から依頼があれば出演。
- 今までに、施設以外では、公民館から2件の依頼。
- 東日本大震災チャリティコンサート賛助出演。
- 企業OB会総会、俳句結社懇談会に出演。
- 鹿児島県人会総会(200人、今年は500人予定)に出演。
- 花見、グルメを訪ねる日帰りも実施。



民謡クラブのメンバー

\*\*\* 新入会、見学も歓迎しております! \*\*\*



練習風景



施設慰問



平成24年 新年会出演

## 旅行&グランドゴルフを楽しむ会

結成 / 平成17年4月

会長 / 今井 源士

会員 / [結成時] 男 10名 女 20名 計 30名

[現在] 男 5名 女 15名 計 20名

### これまでの活動実績

平成17年 4月 研修旅行 ー 青島

平成17年10月 レクリエーション大会では旅行会。ゴザおどりの出し物で笑いを誘いました。

平成21年 5月 熊本県人吉市シルバー独自事業見学 釜田・醸造所を見学し、植木の荒木観光1泊2日の旅

平成21年 6月 宮崎日日新聞社佐土原センター見学 新聞印刷の自動化に圧倒されました。

平成22年 5月 熊本城見学 1泊2日の楽しい旅行でした。

このあと鳥インフルエンザや口蹄疫等で、しばらく自粛していました。

平成24年 1月 高岡やすらぎの郷への日帰りの旅でした。



青島



ゴザおどり



熊本城見学

## 日舞同好会

結成 / 平成17年4月

報告者 互助会前事務長 / 甲斐 忠視

会員 / [結成時] 男 10名 女 20名 計 30名

[現在] 男 5名 女 15名 計 20名

### これまでの活動実績

きちんとした組織はできていないが、同好の仲間がシルバーのレクリエーション大会や新年会に参加して日舞を披露。見学の会員から毎回拍手喝采で盛り上がりがあり、好評を得ています。



横山 徳雄さん



三嶋 洋子さん



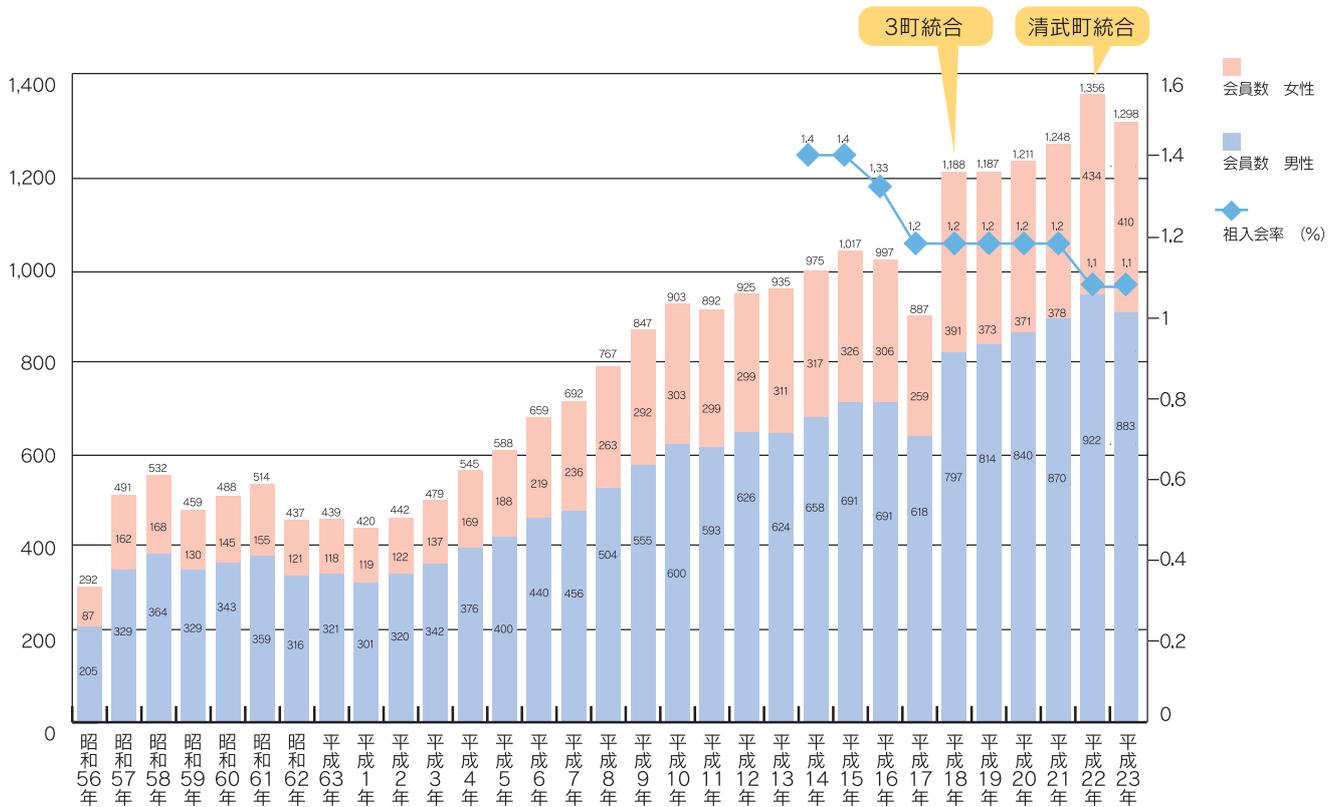
長友 喜登志さん



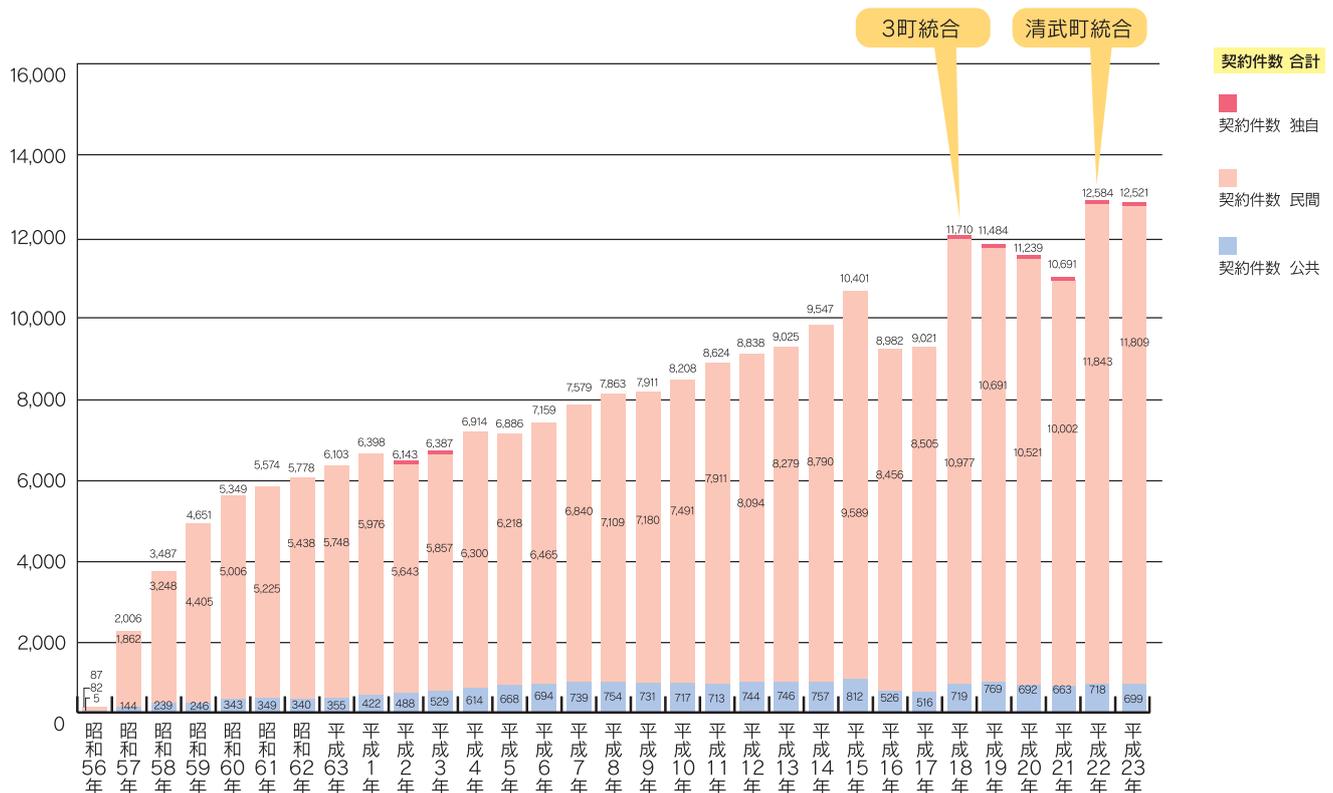
川口 五十鈴さん

# 統計で見る30年の歩み

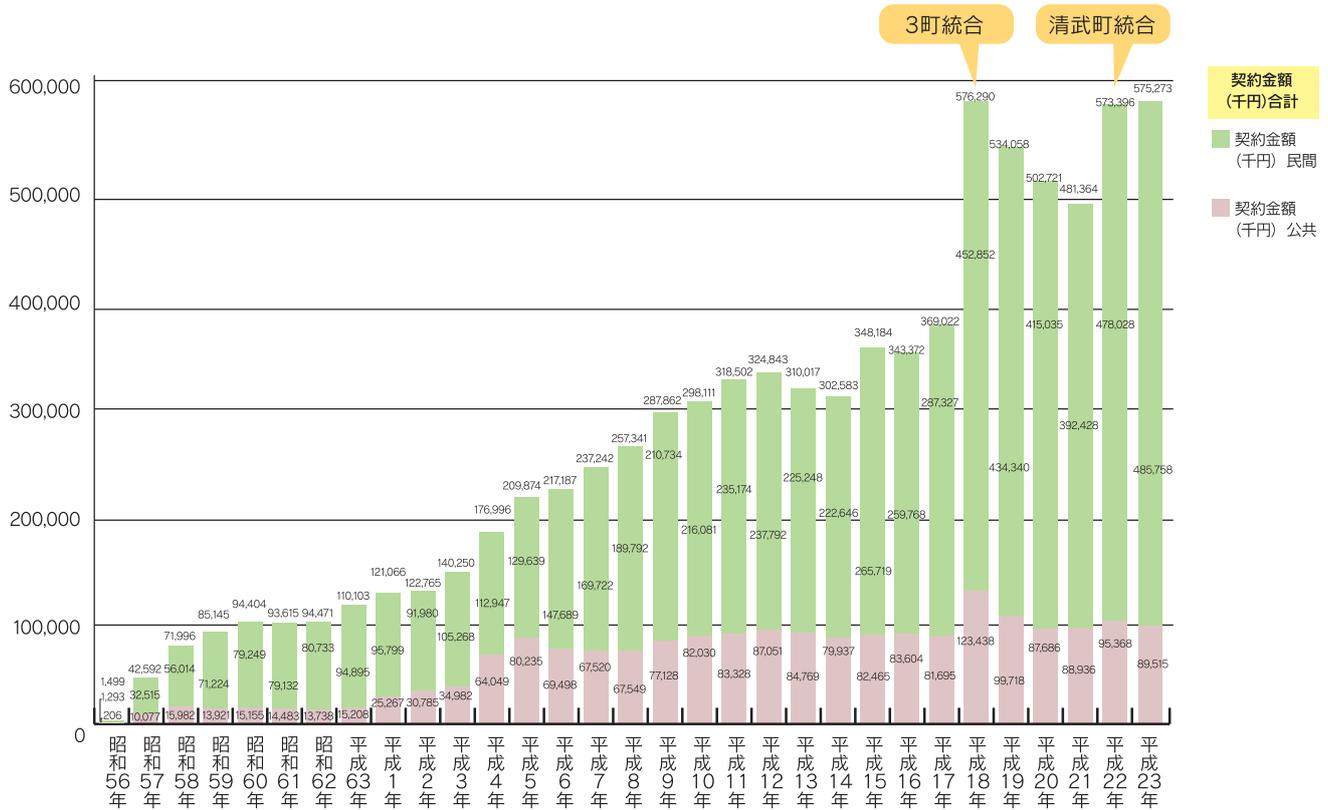
## 会員数と粗入会率



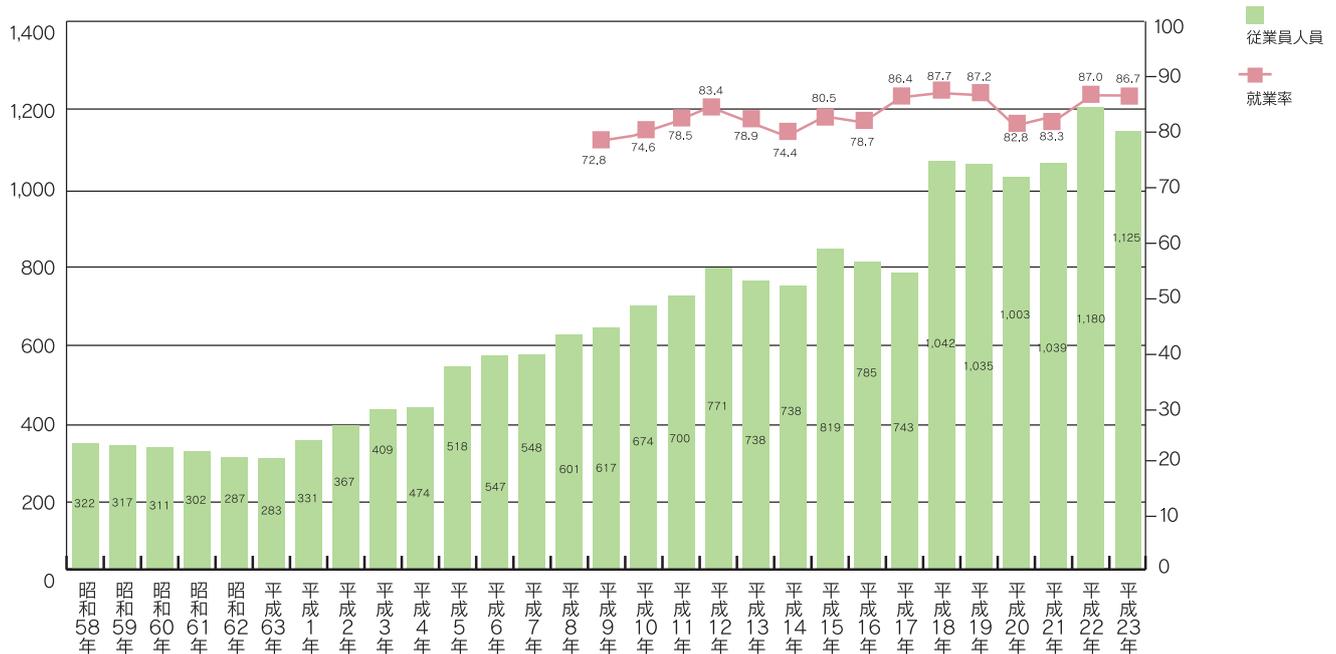
## 契約件数



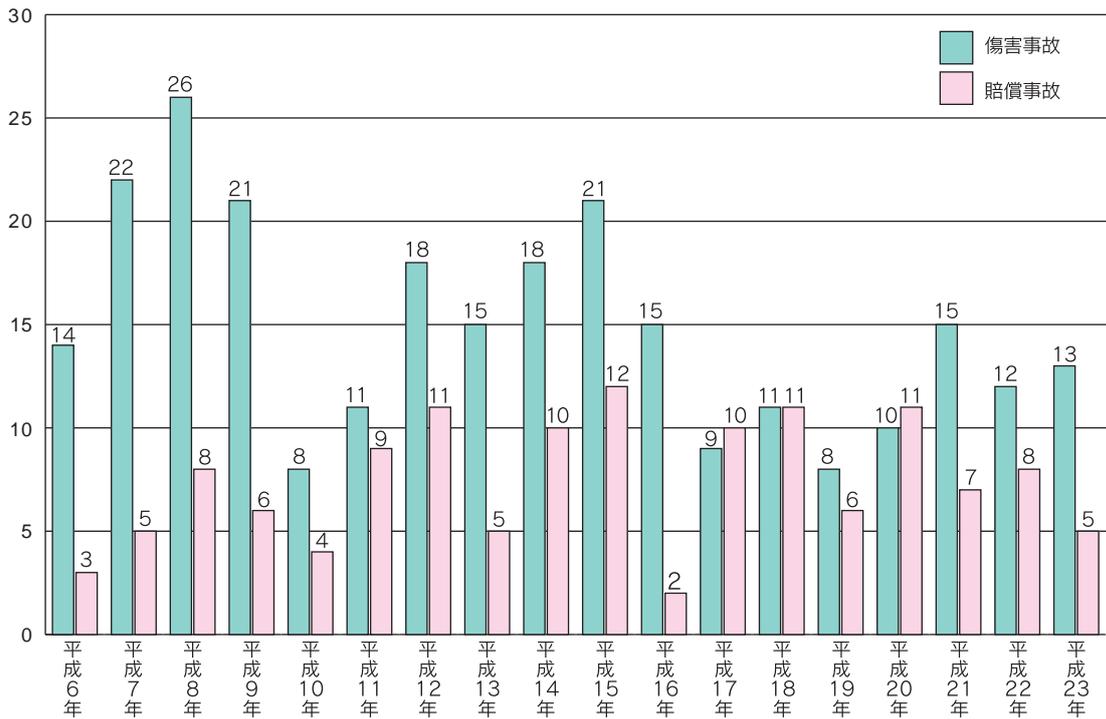
# 契約金額



# 就業実人員と就業率



## 事故発生状況



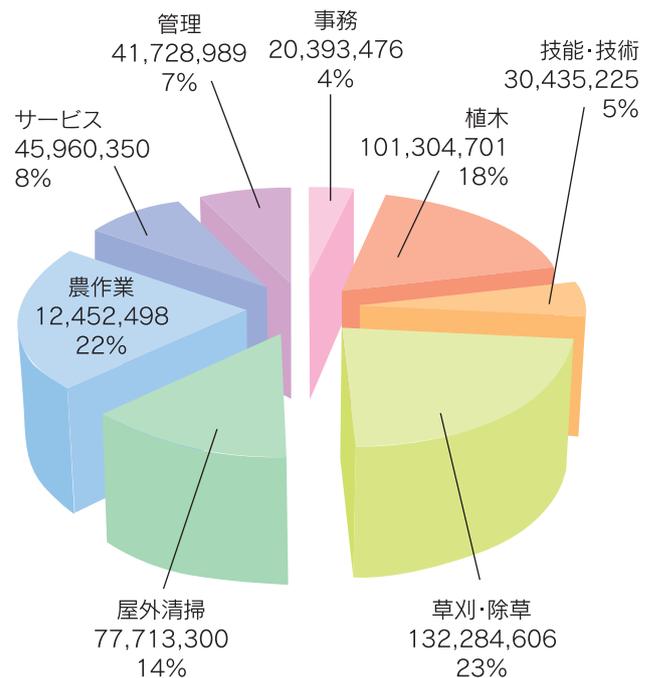
## 第2次中期計画 目標数値（24年度～28年度）

- \*参考…目標数値の考え方
- 1.高齢者推計は、平成23年10月1日現在の60歳以上の人口に社会動態を加味して算出する。
  - 2.粗入会率は、中核市平均1.5%を将来目標とするが、当面は1.35%とし、各年0.03%の伸びとする。
  - 3.就業率は、28年度88%を目標とし、各年0.2%伸びとする。
  - 4.契約金額は、28年度7億円を目標とし、各年2,500万円程度の伸びとする。
  - 5.受注件数は、1件当たりの契約金額を約45,000円とし、算出する。

区分	実績					
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
高齢者計(人)	95,702	100,075	104,456	108,048	118,271	121,434
粗入会率(%)	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1
会員数(人)	1,188	1,187	1,211	1,248	1,356	1,298
就業率(%)	87.7	87.2	82.8	83.3	87.0	86.7
就業実人員(人)	1,042	1,035	1,003	1,039	1,180	1,125
受注件数(件)	11,710	11,484	11,239	10,691	12,584	12,521
契約金額(千円)	576,290	534,058	502,721	481,364	573,396	575,273

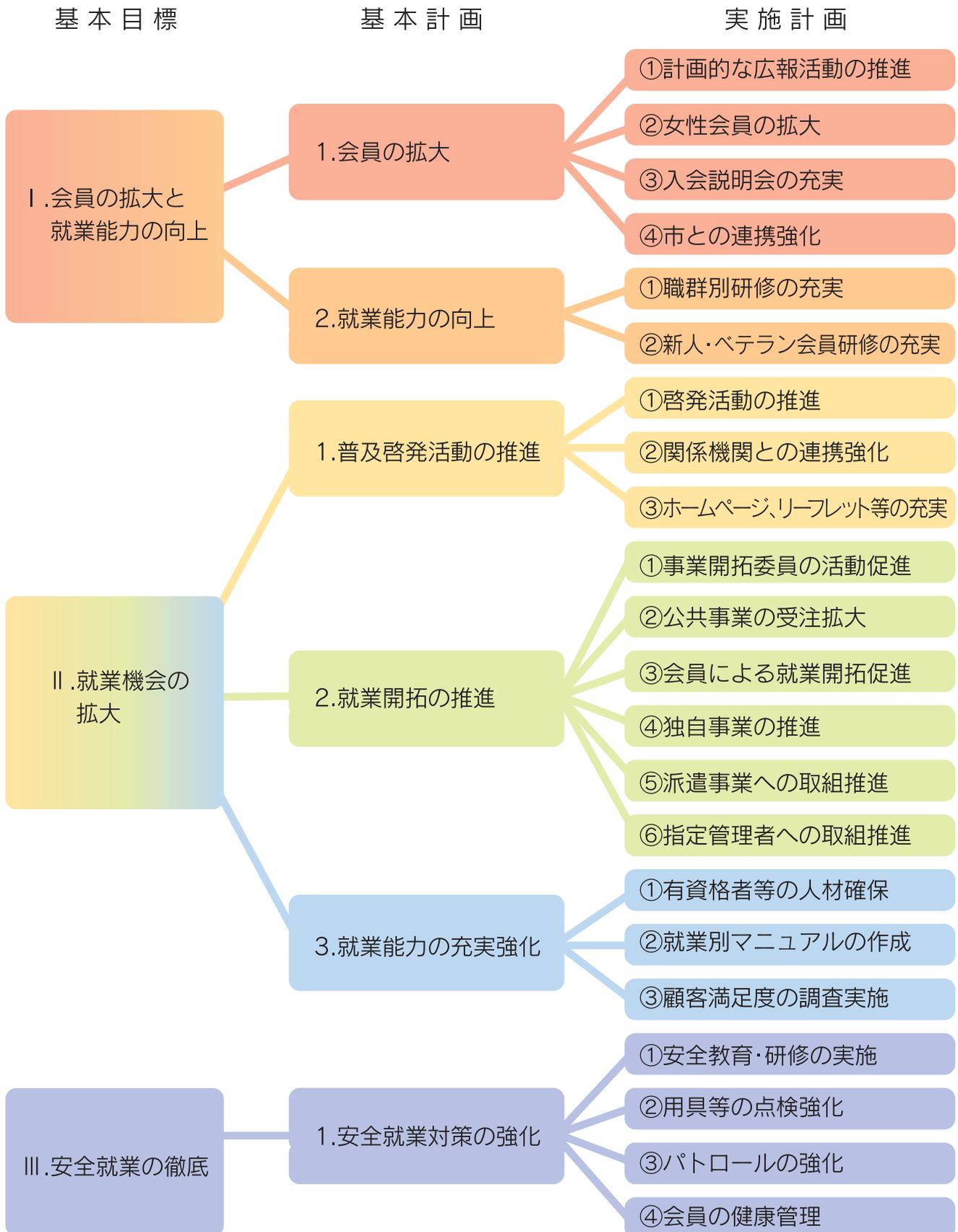
区分	目標数値					中核市 平均値 (22年度)
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
高齢者推計(人)	123,000	126,000	129,000	132,000	135,000	122,542
目標粗入会率(%)	1.23	1.26	1.29	1.32	1.35	1.5
目標会員数(人)	1,513	1,588	1,664	1,742	1,823	1,779
目標就業率(%)	87.4	87.6	87.8	88.0	88.0	78.4
目標就業実人員(人)	1,322	1,391	1,461	1,533	1,604	
目標受注件数(件)	13,330	13,880	14,440	15,000	15,550	10,107
目標契約金額(千円)	600,000	625,000	650,000	675,000	700,000	628,188

### 職群別契約額(平成23年度)



## 第2次中期計画 [基本目標、基本計画、実施計画]

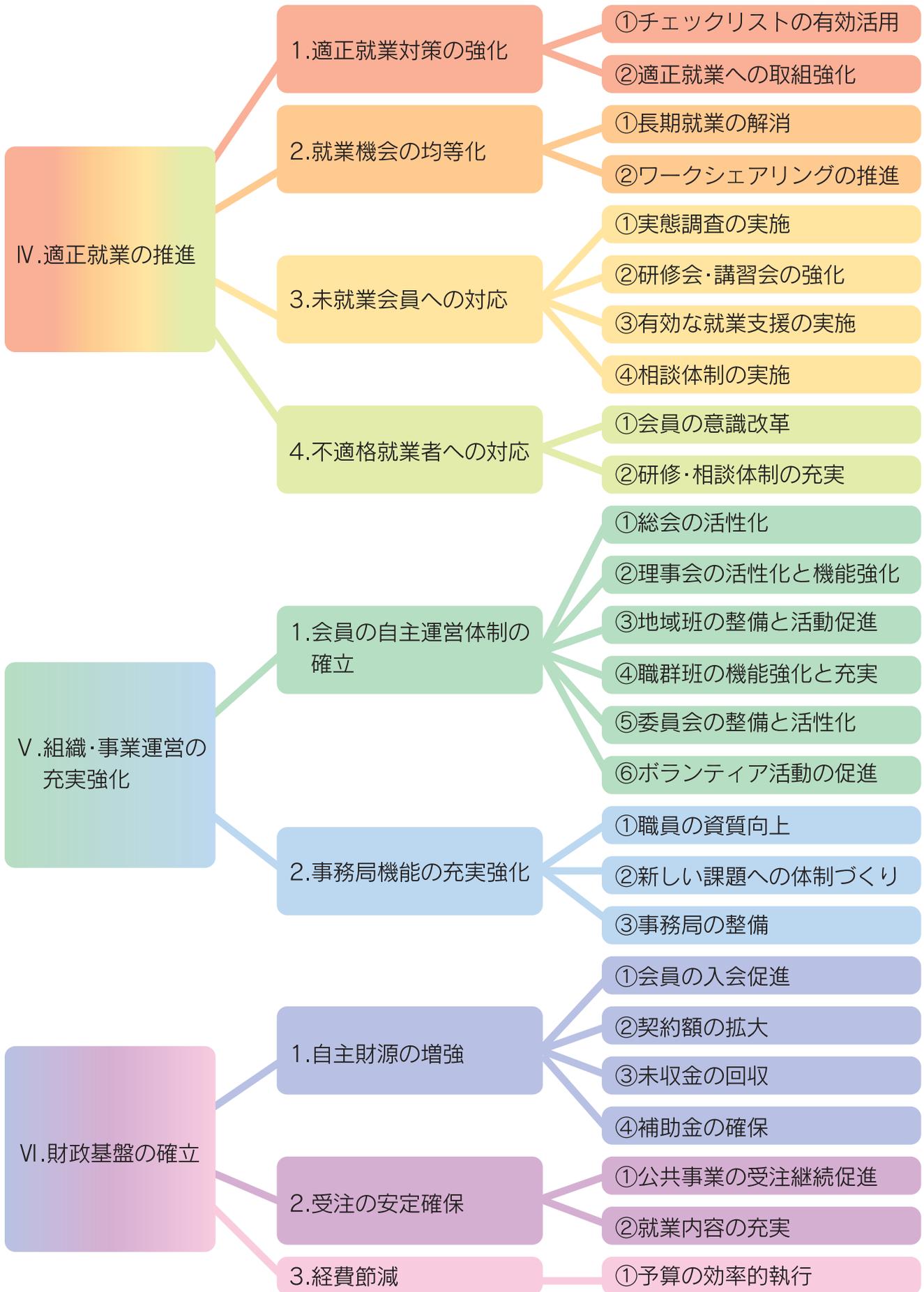
### 1、基本目標、基本計画、実施計画の体系図



基本目標

基本計画

実施計画



# センターの課題と展望

事務局長 たにぐち こうきち 谷口 康吉

当センターが発足以来順調に発展してきたことが、会員数、契約件数、契約額等の推移を見れば一目瞭然である。特に、3町との合併前までは、平成の初期で終わったと言われるバブルの余韻が続いていたので、それと符合するかのように各種の指標が伸びている。

しかしながら、20年のリーマンショック以降は行政の指定管理者導入と相まって、シルバー事業にとっては逆風が吹いている。

そのような中、24年4月には公益社団法人へ移行し、よりの確な業務と財務の運営が求められている。また、21年度に始まった国の事業仕訳による運営費補助金の大幅な削減に伴うセンター運営への影響が懸念される場所である。さらに、ギリシャに端を発したヨーロッパの経済危機、昨年の東日本大震災による影響など不透明な経済状況などが続き、国・地方自治体に与える財政逼迫によるシルバー事業への影響も看過できない。

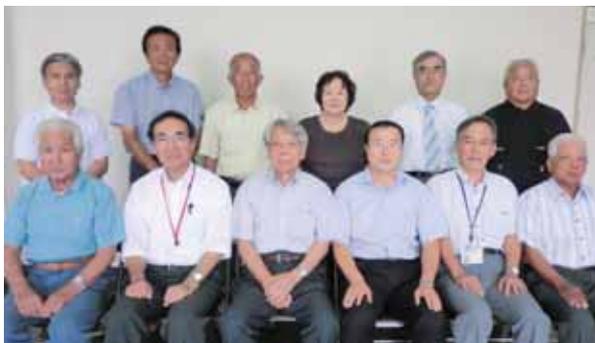
これらの状況を受け、センターとしては、「第2次中期計画」を定め、今後目指すべきセンターの方向性を打ち出したところである。「お客様目線のサービスと会員中心の運営で地域に貢献するシルバー人材センター」をコンセプトに、6つの基本方針を示した。

まず、会員の拡大と就業能力の向上、2つ目に就業機会の拡大、3つ目に安全就業の徹底、4つ目に適正就業の推進、5つ目に組織・事業運営の充実強化、6つ目に財政基盤の確立という、いずれも古くて新しい課題である。全国のセンターを取り巻く環境が厳しい中、当市も例外ではなく、会員、役員、事務局とが一体となって着実に実施していくことが必要である。

30周年の節目の年に、長年の懸案であった本部事務所の市の中心部への移転もでき、地の利を生かしたシルバー事業の周知、拡大が可能になり、この計画をもとにさらなる飛躍が望まれる場所である。

# 役員 事務局職員 会員互助会役員

## ● 役員



後列左から 福嶋 田中 小窪 福本 河野(廣) 井崎  
前列左から 柏田 谷口 宮野原 岩切 河野(善) 甲斐

理事長	岩切 千秋	理事	福本 雪子
副理事長	宮野原 泰男	”	柏田 國雄
常務理事	谷口 康吉	”	河野 廣原
理事	河野 善見	”	小窪 英昭
”	甲斐 重敬	監事	福嶋 信夫
”	井崎 毅	”	田中 長敏

## ● 事務局職員



後列左から 二宮 外山 岡本 柳田 長崎 長友 樋口  
中段左から 前田 大田尾 佐藤 山元 黒田 関本 谷口  
前列左から 重永 加藤 岩切 谷口 吉田 礎

理事長	岩切 千秋	〈田野支部〉	
事務局長	谷口 康吉	支部長	谷口 清子
次長	加藤 郁子	〈高岡支部〉	
〈企画総務担当〉		支部長	関本 健治
主査	吉田 利恵	〈清武支部〉	
	礎 恵美子	支部長	黒田 隆
〈事業担当〉			長友 恵子
副主任	重永 博紀	〈げんきプラザ〉	
主任	山元 正司	指導員	柳田 節子
主任	佐藤 佳代子	指導員	岡本 裕子
	前田 陽子	〈中高年齢者就職支援強化事業〉	
〈佐土原支部〉		コーディネーター	二宮 成一
支部長	樋口 光秋	コーディネーター	外山 恵子
	長崎 春美		大田尾 眞由美

## ● 会員互助会役員



後列左から 緒方 川越 金澤 大坪 新井  
前列左から 星崎 眞部 柳田 三樹 三池

会長	柳田 恒一	幹事	緒方 二郎
副会長	眞部 隼人	”	川越 勲
事務長	三樹 優子	”	新井 律子
幹事	星崎 康弘	監事	金澤 洋子
”	大坪 シマ子	”	三池 隆

# 歴代役員一覽

理事長 副理事長 常務理事 理事 監事

年度	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24
長田 仙一											
小松 敬尚											
井上 徹也											
岩切 千秋											
緒方 正和											
吉留 善郎											
鈴木 隆											
田村 俊彦											
井上 忠行											
柏田 國雄											
黒木 富美雄											
永野 賢一											
瀬戸口 遵											
吉野 武樹											
永野 利信											
谷口 康吉											
富永 喜美夫											
上大田 勇夫											
甲斐 操											
山崎 智柄											
柳田 恒一											
大石 傳											
西村 茂樹											
牧之瀬 秀次											
田中 正平											
海老原 幸子											
木田 寿生											
小泉 多加子											
山本 隆從											
緒方 次朗											
那須 巧子											
今村 文雄											
野田 隆雄											
山内 正雄											
中村 睦男											
緒方 義宣											
松山 忠義											
川越 貞美											
大山 洋一											
重久 忠男											
原元 定人											
津田 誠一											
宮野原 泰男											
野中 満											
金丸 紘二											
甲斐 重敬											
河野 澄雄											
今井 源士											
福本 雪子											
河野 廣原											
坂元 三男											
井崎 毅											
小窪 英昭											
河野 善見											
長田 吉弘											
庭月野 英樹											
奥屋 平實											
木谷 實											
柴原 清徳											
宮下 安雄											
永井 章憲											
福嶋 信夫											
田中 長敏											

# あとがき

われじゅうゆうご  
「吾十有五にして学に志し、三十にして立つ」と孔子は「論語」の中で言っている。

30歳は自立を意味する。もうこの年齢で江戸期の俳人芭蕉は「翁」と呼ばれているが、現代の年齢で言えば、まだまだ意気盛んな歳で、人生の岐路でもあり、迷いも多く、「自立」という概念からは程遠い。とはいえ、やはり30年は大きな区切りである。

宮崎市シルバー人材センター設立30周年が、図らずも社団法人から公益社団法人に移行する大きな転換期を迎えることになった。

現代は、国際的にも政治、経済の不安定な要素が多く、まだまだ、悲惨な戦火は終わることなく続いている。国内的には未曾有の東日本の地震、津波の大惨禍、はては原発の事故も重なり、その復興までの道のりは長く、課題も山積。おまけに、近年、異常気象ともいえる自然の災害も後を立たない。身近には、県内のインフルエンザや口蹄疫、新燃岳の噴火の後遺症も気にかかる。しかも、「決まらない政治」「領土問題」で揺れ続けている日本列島に不安はないのか。

とまれ、本来、第一線を退いた人たちが、新しい人生と生きがいを見つけて働いている姿は素晴らしい。この「記念誌」編集にあたり、会員の声を聞き、思いもしなかったことを教えられ、共鳴することが多かった。精神的に老人になりたくない、健康でいたいと願う多くの経験豊かな人材が、生き生きと働いている姿を見て感動すらおぼえる。

わが人材センターも公益社団法人の移行による運営上の諸課題をかかえながら、「市民目線の開かれたセンター」をめざし、新たに「中期計画」をたて、経営の大きな目標をめざす。この実践には会員、職員一体となって、設立当時の熱い気持ちを思い返しながら、新たな出発を祈念して、記念誌を発行することは意義深いことである。

おわりに、発行にあたり、会員および関係者の多くの協力に対して、深く感謝の意を表したい。  
(松田)

編集委員長 **松田 英男**

編集委員 **宮野原泰男**

編集委員 **久保浦在廣**  
すみひろ

事務局 **谷口康吉**  
(事務局長)

事務局 **吉田利恵**  
(広報担当)



後列左から 谷口 吉田 前列左から 宮野原 松田 久保浦



## 設立30周年記念誌 ひむか

---

発行日 2012年11月1日  
発行者 公益社団法人 宮崎市シルバー人材センター  
TEL.0985-25-1430  
編集 記念誌編集委員会  
印刷 (株)宮崎南印刷  
TEL.0985-51-2745

